

令和4年度

# 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果



清見町まちづくり協議会

## ～ 目 次 ～

1. アンケート調査の概要	P 1
2. 回答者について	
(問1) 性別	P 2
(問2) 年代	〃
(問3) 自治区	〃
(問4) 職業	P 3
(問5) 家族構成	〃
(問6) 困っている、不自由に感じていること	P 4
3. 防災について	
(問7) 住いは災害に対して安心して暮らせる場所か	P 5
(問8) 一番心配な災害はなにか	〃
(問9) 自主防災計画を把握しているか	P 6
(問10) 災害から身を守るための備えをしているか	〃
(問11) 地域防災に何が必要か	P 7
4. 協働の進め方について	
(問12) 行政がやるべき事として特に重要なことは何か	P 7
(問13) 地域住民の役割はどのような事だと思うか	P 8
(問14) 行政と住民との協働での取り組みとして何が重要か	〃
5. まちづくり協議会について	
(問15) まち協活動への参加状況	P 9
(問16) 広報誌「まち協だより」の認知	〃
(問17) まち協が重点的に取り組むべきと思うこと	P 10
6. 今後の清見小・中学校のあり方について	
(問18) 清見小・中学校のあり方についてどう思うか	P 10
7. 問17の回答で、今後まち協が重点的に取り組むべきと思う具体的なご意見	P 11
8. 問18の回答で、清見小・中学校のあり方についての具体的なご意見	P 21
9. 今後の地域づくりの進め方についてのご意見ご提案	P 28
10. まとめ	P 39

## アンケート調査の概要

### 1 調査の目的

清見町まちづくり協議会では「住みやすく、笑顔でみんながいきいきと暮らせるまち」を基本方針として定め、各種事業に取り組んでいます。

そこで、清見地域にお住まいのみなさんの思いやニーズを把握し、今後のまちづくりに活かしていくためアンケート調査を実施しました。

### 2 調査対象

清見地区の中学生以上の方

このアンケートは、住民一人一人が感じている清見地域の課題や思い等を「年代別」「地区別」に整理するとともに、より多くの方の考えを把握するため、世帯主の方だけでなく、中学生以上の方を対象としました。

### 3 調査方法

無記名によるアンケート調査方式

回答された内容は統計的な処理を行い、個人情報漏れることや回答者に不利益にならないよう配慮しました。

### 4 調査期間

令和4年12月7日～令和5年2月6日

### 5 回収結果

配布数：1,940人

回収数：1,211人

回収率： 63%

まち協QRコード



### 6 アンケート結果の報告

町内会長を通じ各住民に周知するとともに、清見町まちづくり協議会のホームページに掲載しています。

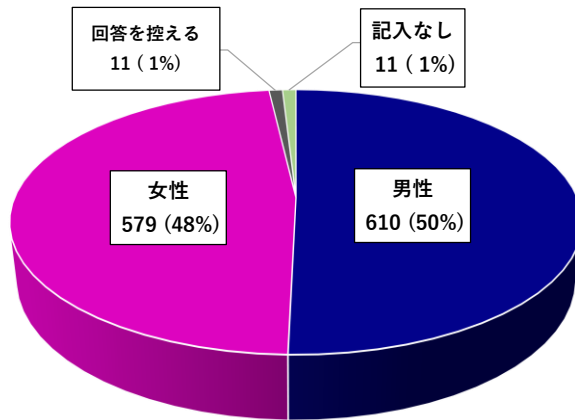
# 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★ ご自身のことをおたずねします

## 問1 あなたの性別を教えてください

性別	回答者	率
男性	610	50%
女性	579	48%
回答を控える	11	1%
記入なし	11	1%
合計	1211	100%

(配布数：1,940 回収率：63%)

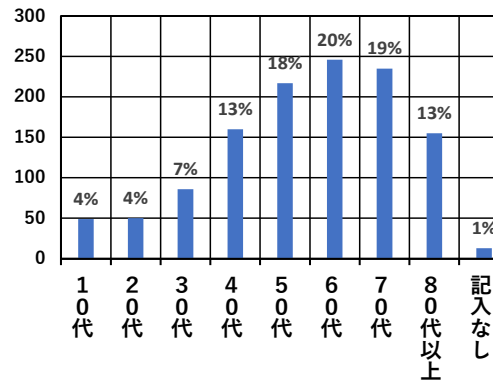


※ 回答いただいた男女の比率はほぼ半数でした。

★ ご自身のことをおたずねします

## 問2 あなたの年代を教えてください

年齢	回答者	率
10代	49	4%
20代	50	4%
30代	86	7%
40代	160	13%
50代	217	18%
60代	246	20%
70代	235	19%
80代以上	155	13%
記入なし	13	1%
合計	1211	100%

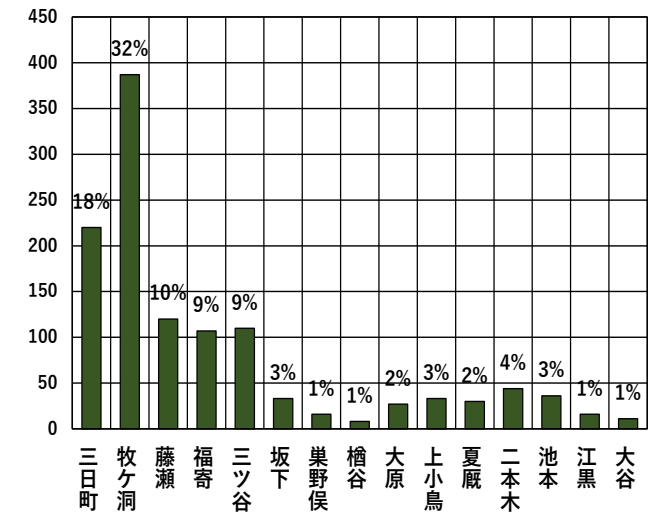


※ 回答は50代～70代が多く、40代以下は少ない状況でした。

★ ご自身のことをおたずねします

## 問3 あなたのお住まいはどの地区ですか

地区	三日町	牧ヶ洞	藤瀬	福寄	三ツ谷	坂下	巢野俣	檜谷	大原	上小鳥	夏厩	二本木	池本	江黒	大谷
回答者	20	37	10	17	10	33	16	8	27	33	40	34	36	16	11

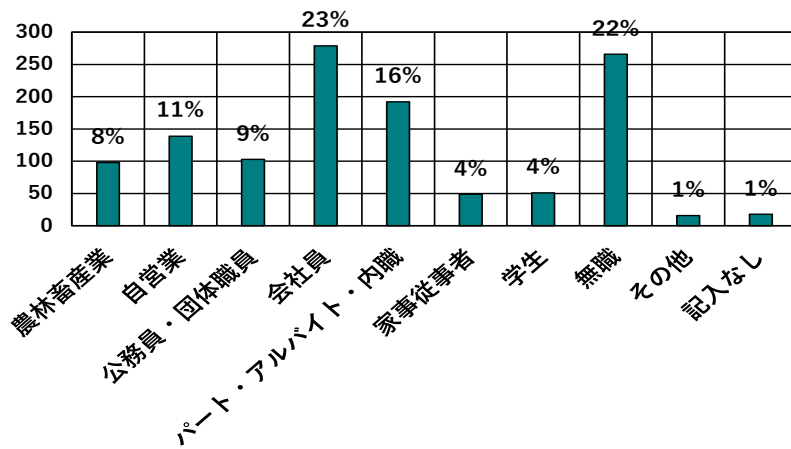


## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★ ご自身のことをおたずねします

### 問4 あなたの職業を教えてください

職業	回答者	率	職業	回答者	率
農林畜産業	98	8%	家事従事者	49	4%
自営業	139	11%	学生	51	4%
公務員・団体職員	103	9%	無職	266	22%
会社員	279	23%	その他	16	1%
パート・アルバイト・内職	192	16%	記入なし	18	1%
			合計	1211	100%



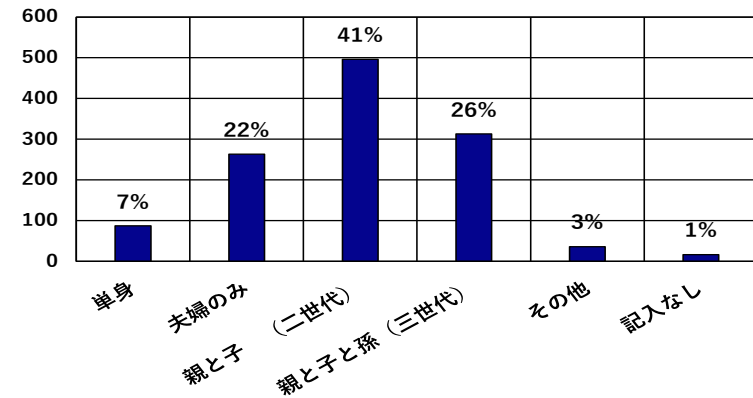
◆ 問4のその他

・ 医療関係 ・ 主婦 ・ 教育系

★ ご自身のことをおたずねします

### 問5 あなたの家族構成を教えてください

家族構成	回答者	率
単身	87	7%
夫婦のみ	263	22%
親と子 (二世)	496	41%
親と子と孫 (三世)	313	26%
その他	36	3%
記入なし	16	1%
合計	1211	100%



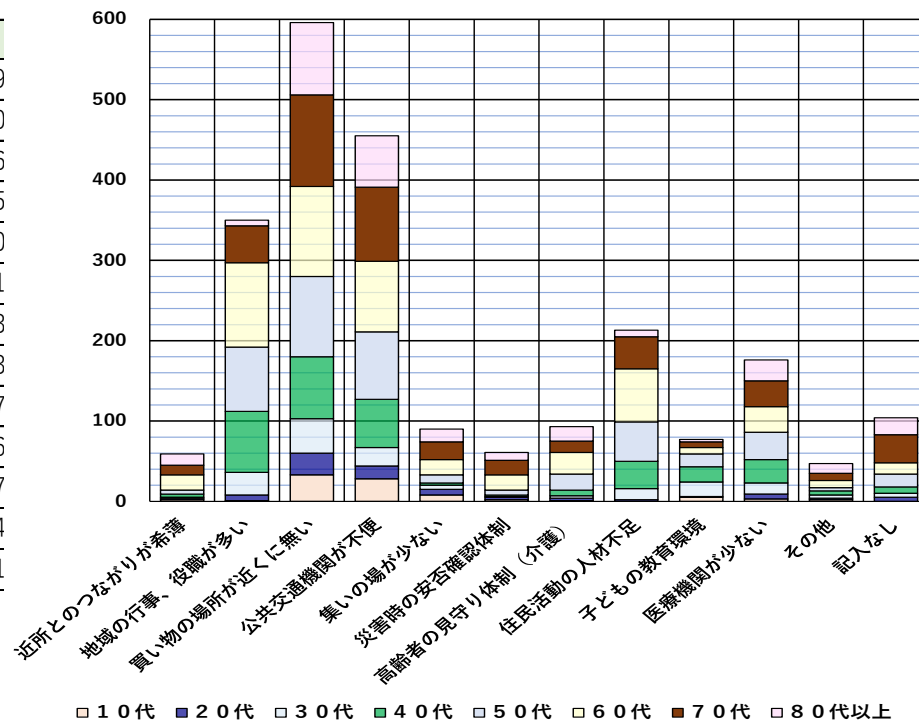
◆ 問5のその他

・ 四世代 ・ 夫婦子供 ・ 親と弟 ・ 夫婦と子 ・ 夫婦と義理の母

## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

### 問6 現在あなたが困っている、または不自由に感じていることは何ですか（3つ以内）

生活環境	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	合計
近所とのつながりが希薄	2	2	1	4	5	19	12	14	59
地域の行事、役職が多い	1	7	28	76	80	105	46	7	350
買い物の場所が近くに無い	33	27	43	77	100	112	114	90	596
公共交通機関が不便	28	16	23	60	84	88	92	64	455
集いの場が少ない	8	7	5	3	10	19	22	16	90
災害時の安否確認体制	2	3	1	2	6	19	18	10	61
高齢者の見守り体制（介護）	1	3	3	7	20	27	14	18	93
住民活動の人材不足	0	2	14	34	49	66	40	8	213
子どもの教育環境	5	1	18	19	16	8	7	3	77
医療機関が少ない	3	6	14	29	34	32	32	26	176
その他	2	2	4	5	4	9	9	12	47
記入なし	0	5	5	8	16	14	35	21	104
合計									2321



#### ◆ 問6のその他

- ・ 将来が不安 ・ 街灯が少ない ・ 除雪作業 ・ 通学路の除雪 ・ 一人住い
- ・ 買い物、病院へ自分ひとりで行けない ・ コンビニがない ・ スーパーが遠い
- ・ 区費、会費などの徴収金が多い ・ 各世代との交流の場がない ・ 通学が不便
- ・ 子どもの遊び場、自然と集える場が少ない ・ タクシーを利用できない
- ・ 今のところ不自由を感じた事はない

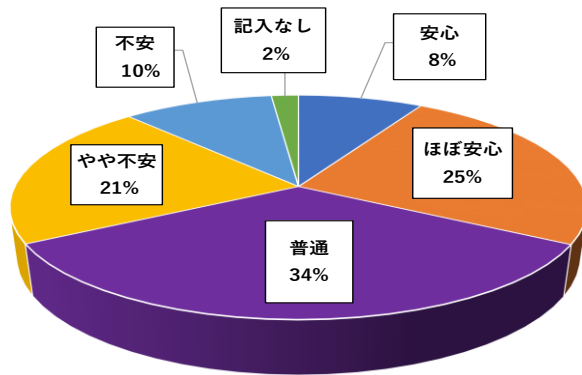
※ どの年代も「買い物場所が近くに無い」ことや「公共交通機関が不便」であることに不自由さを感じている。  
又、30代～60代においては地域の行事や役職が多いと感じている。

## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★ 防災についておたずねします

問7 あなたの住まいは、災害に対して安心して暮らせる場所だと思いますか

住まいの災害	回答者	率
安心	101	8%
ほぼ安心	300	25%
普通	410	34%
やや不安	256	21%
不安	122	10%
記入なし	22	2%
合計	1211	100%

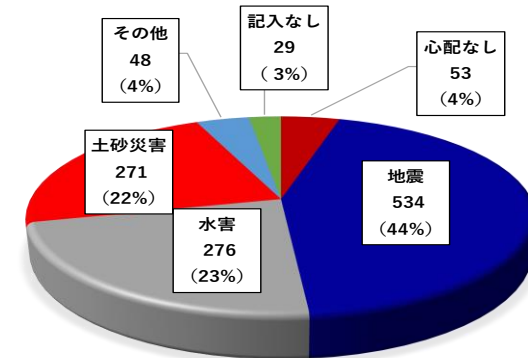


※ 住まいについて約3割の方が災害に対して「やや不安」・「不安」を感じている。

★ 防災についておたずねします

問8 あなたが今一番心配な災害はなんですか

一番心配な災害	回答者	率
心配なし	53	4%
地震	534	44%
水害	276	23%
土砂災害	271	22%
その他	48	4%
記入なし	29	2%
合計	1211	100%



◆ 問8のその他

- ・ 雪害 ・ 裏山からの倒木 ・ 大きな石が毎年落ちている ・ 台風
- ・ 火事 ・ 停電

※ 全体の約4割の方が、地震が心配であるとの回答であった。

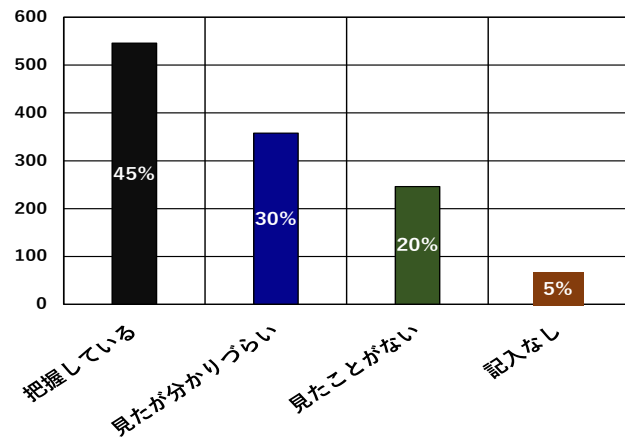
又、地区別では坂下・巢野俣・檜谷・小鳥地区は、地震よりも土砂災害を心配する回答が多い。

## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★ 防災についておたずねします

問9 あなたは各家庭に配布している、各地区の自主防災計画を見て内容を把握していますか

自主防災計画について	回答者	率
把握している	546	45%
見たが分かりづらい	358	30%
見たことがない	246	20%
記入なし	61	5%
合計	1211	100%

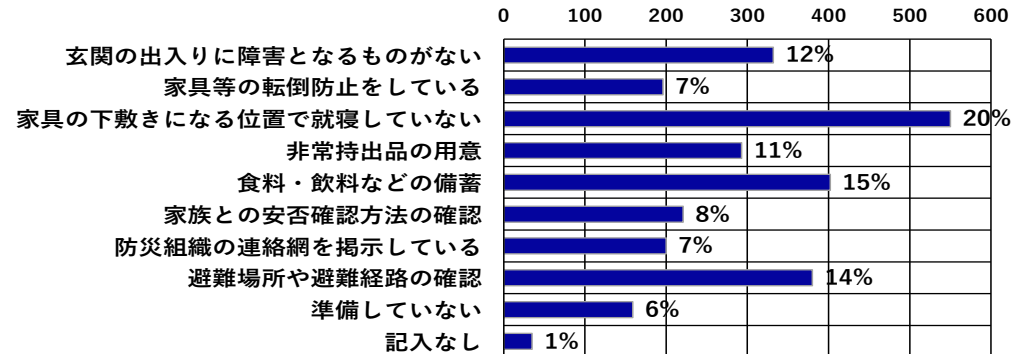


※ 「見たが分かりづらい」・「見たことがない」との回答が半数である。このため、自主防災計画について各家庭内での話し合いや各自主防災組織において、啓発を強化していく必要がある。

★ 防災についておたずねします

問10 あなたの家庭では、災害から身を守るために日頃からどのようなことに注意または準備をしていますか（複数回答）

災害の備え	回答者	災害の備え	回答者
玄関の出入りに障害となるものがない	332	家族との安否確認方法の確認	221
家具等の転倒防止をしている	196	防災組織の連絡網を掲示している	200
家具の下敷きになる位置で就寝していない	550	避難場所や避難経路の確認	380
非常持出品の用意	293	準備していない	159
食料・飲料などの備蓄	402	記入なし	35
		合計	2768



※ 各家庭で何らかの備えを行っている。「なにも準備していない」との回答は6%であった。

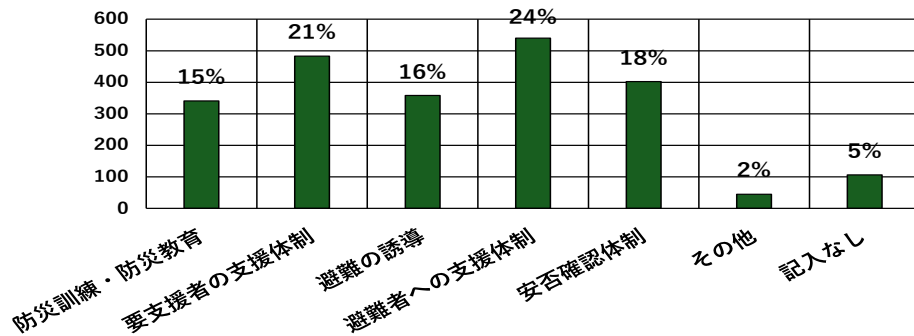


## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

### ★ 防災についておたずねします

問11 あなたは地域の防災にとって、なにが必要だと思いますか (複数回答)

地域防災に必要なもの	回答者	率
防災訓練・防災教育	341	15%
要支援者の支援体制	483	21%
避難の誘導	358	16%
避難者への支援体制	540	24%
安否確認体制	402	18%
その他	45	2%
記入なし	106	5%
合計	2275	100%



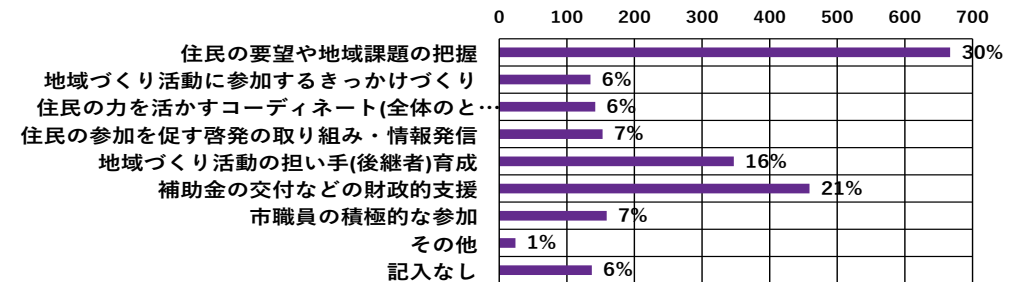
#### ◆ 問11のその他

- ・ 情報の確保、ルートの確保 ・ 道路・水路の整備 ・ 危険個所の整備
- ・ 安全な避難場所 ・ 被災者への救援体制 ・ 外出者の連絡方法
- ・ 隣、近所との声かけ ・ 電話以外の連絡方法 ・ 食料飲料の備蓄
- ・ 夜間の照明不足 ・ 避難所への移動 ・ 情報提供

### ★ 協働の進め方についておたずねします

問12 より良い地域づくりを進めていくために行政がやるべき事として、特に重要なことは何だと思いますか (3つ以内)

行政がやるべき事	回答者	率
住民の要望や地域課題の把握	667	30%
地域づくり活動に参加するきっかけづくり	135	6%
住民の力を活かすコーディネート(全体のとりまとめ)機能の充実	142	6%
住民の参加を促す啓発の取り組み・情報発信	153	7%
地域づくり活動の担い手(後継者)育成	347	16%
補助金の交付などの財政的支援	459	21%
市職員の積極的な参加	159	7%
その他	24	1%
記入なし	137	6%
合計	2223	100%



#### ◆ 問12のその他

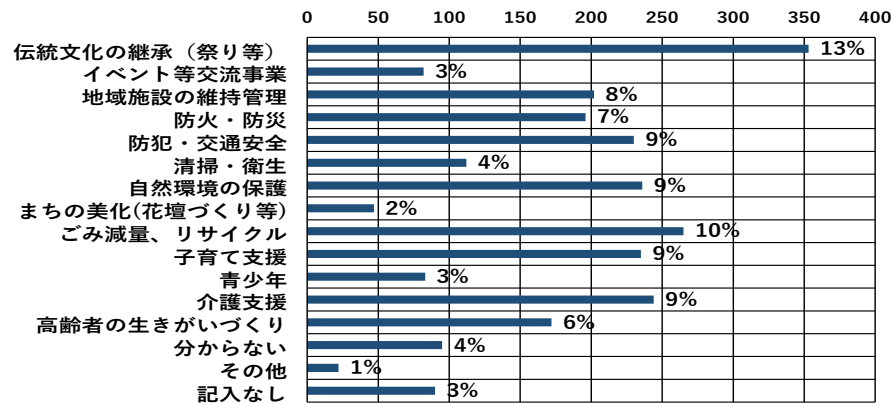
- ・ 若者が残れる地域づくり ・ 手続きの簡素化 ・ 災害危険箇所対策
  - ・ 道路整備 ・ 町内会の統合、移住地の整理 ・ 公園を作ってほしい
  - ・ 住民への役職の縮小化 ・ 山林・土地・家屋等所有者の把握
  - ・ Uターンしやすい地域づくり ・ 移住者の受入れ、勧誘、コーディネート
- ※ 行政に対し住民の要望や後継者育成、補助金交付などの財政的支援を求める意見が多い。

## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★ 協働の進め方についておたずねします

問13 より良い地域づくりを進めていくために、住民ができる役割はどのようなことだと思いますか (3つ以内)

地域づくりの役割	回答者	地域づくりの役割	回答者
伝統文化の継承(祭り等)	353	ごみ減量、リサイクル	265
イベント等交流事業	82	子育て支援	235
地域施設の維持管理	202	青少年	83
防火・防災	196	介護支援	244
防犯・交通安全	230	高齢者の生きがいづくり	172
清掃・衛生	112	分からない	95
自然環境の保護	236	その他	22
まちの美化(花壇づくり等)	47	記入なし	90
		合計	2664



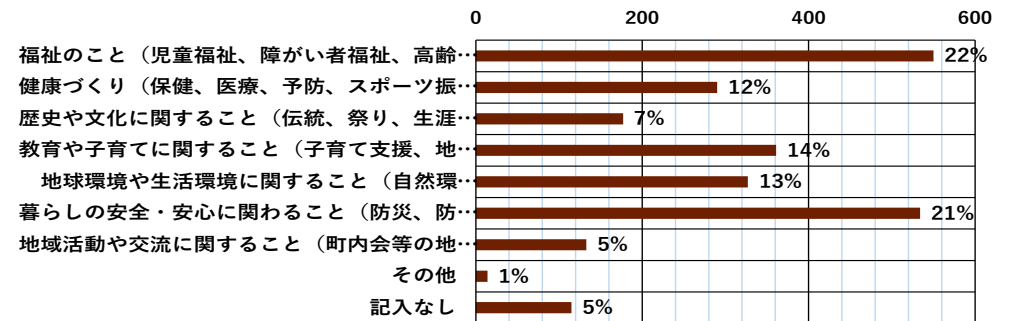
◆ 問13のその他

- ・ 行政への発言 ・ 店や企業の誘致 ・ 若者の職場 ・ 地域の美化
- ・ みんなで助け合う ・ 町内会の活性化 ・ 住民との結びつき
- ・ 生き生きと暮らせる環境づくり ・ 得意なことを活かせる場づくり

★ 協働の進め方についておたずねします

問14 行政と住民が協働で取り組むことが必要なことは、どのような事だと思いますか (3つ以内)

行政と住民の取組み	回答者
福祉のこと(児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉など)	550
健康づくり(保健、医療、予防、スポーツ振興など)	290
歴史や文化に関すること(伝統、祭り、生涯学習など)	177
教育や子育てに関すること(子育て支援、地域での教育)	361
地球環境や生活環境に関すること(自然環境、ごみ、公害防止)	327
暮らしの安全・安心に関わること(防災、防犯、交通安全など)	534
地域活動や交流に関すること(町内会等の地域コミュニティ活動)	133
その他	14
記入なし	115
合計	2501



◆ 問14のその他

- ・ 弱者の居場所の確保 ・ 可燃ごみを集める場所が遠い
- ・ 少なくなる人口で地域を維持するため、個人負担を軽くする
- ・ 環境を守るため、草刈り、除草等いつでも頼める人があるといい

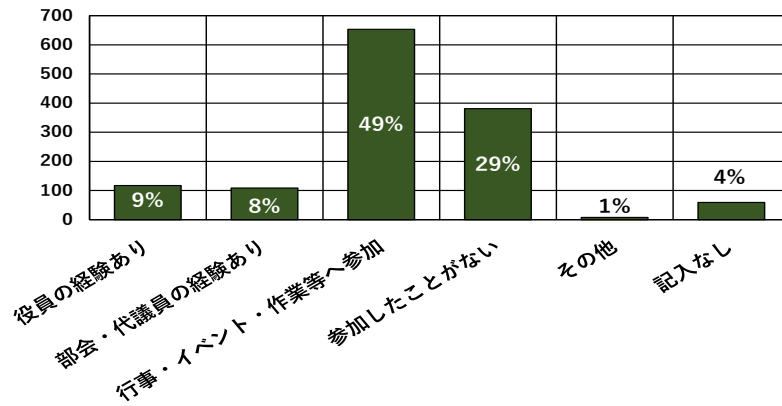
※ 福祉や子育て支援、防災防犯などの暮らしの安全・安心に取り組むことが必要との回答が多い。

## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★まちづくり協議会についておたずねします

問15 あなたはこれまでに、清見町まち協の活動に参加したことはありますか

まち協への活動参加	回答者	率
役員の経験あり	117	9%
部会・代議員の経験あり	109	8%
行事・イベント・作業等へ参加	653	49%
参加したことがない	381	29%
その他	8	1%
記入なし	59	4%
合計	1327	100%

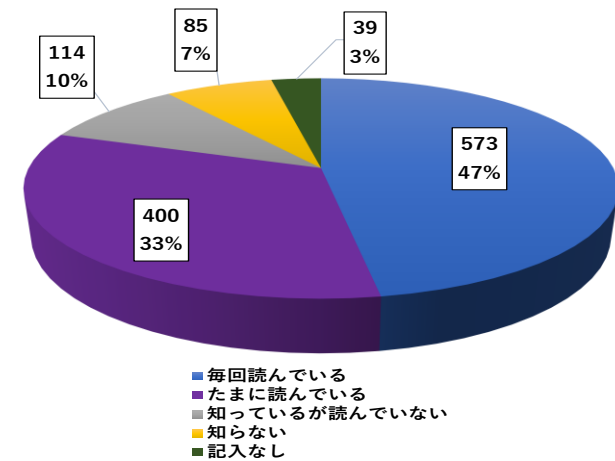


※ 約3割の方が活動に参加したことがないとの回答であった。  
 今後は、誰もが気軽に参加できるように事業内容や組織の見直しを検討していきます。

★まちづくり協議会についておたずねします

問16 あなたは広報紙「まち協だより」をご存知ですか

まち協だよりについて	回答者	率
毎回読んでいる	573	47%
たまに読んでいる	400	33%
知っているが読んでいない	114	9%
知らない	85	7%
記入なし	39	3%
合計	1211	100%



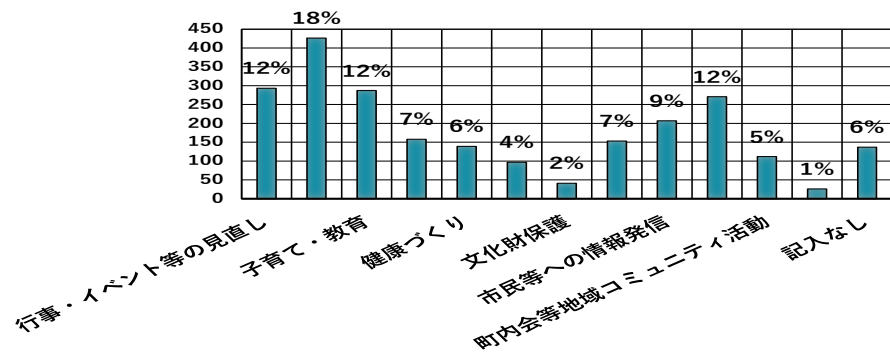
※ 「毎回読んでいる」・「たまに読んでいる」を併せると8割の方に読んでいただいている。  
 しかし10代～30代の方々にはあまり読まれていない状況である。  
 これからも皆さんに楽しく読んでいただけるよう内容等を精査し、市民への情報発信に努めていきます。

## 清見町まちづくりに関するアンケート調査結果

★まちづくり協議会についておたずねします

問17 今後、清見町まち協がどのようなことを重点的に取り組むべきだと思いますか (3つ以内)

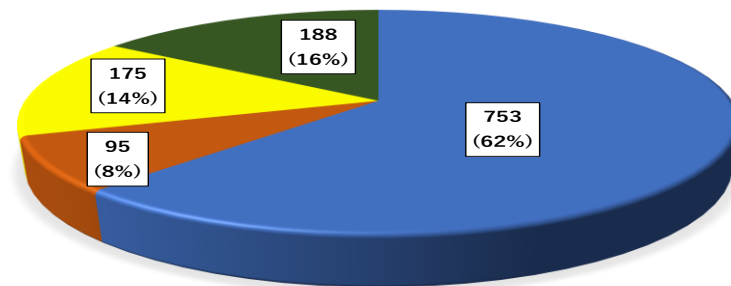
まち協の取組	回答者	まち協の取組	回答者
行事・イベント等の見直し	293	環境保全	153
高齢者・福祉	426	市民等への情報発信	207
子育て・教育	287	移住者受入・空き家対策	271
防災	158	町内会等地域コミュニティ活動	112
健康づくり	139	その他	26
生涯学習	97	記入なし	137
文化財保護	41	合計	2347



★今後の清見小・中学校のあり方についておたずねします

問18 少子化が進む中で清見町でも子ども達が年々減少しており、近い将来小・中学校では複式学級となる可能性もあります。こうした状況を踏まえ、今後の清見小・中学校のあり方についてあなたの思いをお聞かせください

小中学校のあり方	回答者	率
子供達にとってより良い方法を考える	753	62%
今のままでよい	95	8%
わからない	175	14%
記入なし	188	16%
合計	1211	100%



■子供達にとってより良い方法を考える ■今のままでよい ■わからない ■記入なし

◆ 問17のその他

- ・ 公共交通機関が不便なことに対する対応
  - ・ 買物できる施設
  - ・ 若者への職場提供
  - ・ 公園を作ってほしい
  - ・ 町内会の負担軽減
  - ・ 参加意識の向上
  - ・ 地域の活動をもっと減らしてほしい
  - ・ 防犯
- ※ 高齢者・福祉、子育て、移住者の受入れや行事・イベント等の見直しの意見が多いことから、今後の実施事業について検討していきます。
- ※ 皆さんからの具体的なご意見は別紙に記載しています。

※ 約6割の方から「子ども達にとってより良い方法を考えていく必要がある」との回答でした。  
 今後は、地域の意見を踏まえて、保護者・学校・関係機関等と具体的な方向性について検討していく必要がある。

※ 皆さんからの具体的なご意見は別紙に記載しています。

問17) 今後まち協が重点的に取り組むべきと思う具体的なご意見（同じ内容の意見についてはまとめて記載しています）

高齢者の防災について具体的な指導が必要
高齢者の防災対策
地域代表役員を少なく
高齢者の買い物弱者への対策。ウクライナ人の積極的移住の働きかけ。
人口が減っているので、それをくい止めるような対策を考えてほしい。
近くに病院、お店がないのでこれが一番心配です。
高齢者の交通の便利等の対策を考えてほしい。
独居に対する実態の把握と冬期における除雪補助、地区も高齢が進んでいる。空き家に対する処理。教育に対する支援、大学までの補助の強化。
小中学校の児童生徒が減少している中、部活動等において他地域と合流していることもあり、地区として住みやすく、小中学校の入学者数を少しでも増加できるような呼びかけをしてほしい。
住みやすいまちづくり、財政補助等。
住民が減っている中での町内行事・イベントをより良いものにできるかを見直していくべきだと思う。広報紙はとても分かりやすく作成されていると思い、毎回楽しみにしている。小中学生も減少している中で、住民と関りながら生涯学習の充実を願っている。
移住者を多く受入れ清見町の活性化を図ってほしい。
防災訓練の講習
赤ちゃんから高齢者まで皆が参加できるイベントを。
働き方の変化によって田舎への移住のニーズも増えてきていることから、清見町の魅力を全国にもっと発信して行ってほしい。
子どもや高齢者が住みやすい環境を考えて行って欲しい。
先を見据えた子ども支援
高齢者等、買い物弱者への対策を考えてほしい。
学校教育外の郷土教育など（中高年は従来手法で良いのでは）
人権を高め町民一人ひとりがお互いに助け合える町づくりの推進。住民の命と財産を守る防災体制の機能の充実。美しい自然環境を守る取組み（山、川、動植物を守る）
道路際の雑草が伸び放題…あぜの雑草も山中の様、整備をして欲しい（各家の前は各家で）。SDGsに向けて関心を持ち、出来る事を実行する様推進する。荒れた田畑に麦等を作り、食物難に備える。若い者が清見を愛し、豊かな町内になるような発想を持ち実行できる人材が出現する事を期待する。
次世代を担う子ども達により多くの体験の場を与えて欲しい。生涯を通して学べる場があったら生き甲斐に繋がるように思う。年齢とともに活動範囲も狭くなり、人との交流が少なくなるので、より多くの情報を伝えて欲しい。

小中学生に対する飛騨地区有力企業等の紹介（Uターン学生を増やすための働きかけ）。市街地区の近郊として清見地区内（三日町、牧ヶ洞など）の住宅地開発。
スポーツ大会等、継続することも大切と思うが、一部の町民だけでなく、たくさんの町民が参加できる新しい軽スポーツ等も開催できれば良いと思う。
孫から老人まで参加できる運動会的な行事を取り入れる。
一人世帯に対する情報発信の強化。
情報をくわしく発信してほしい（清見のいろいろな情報を知りたいと思う）
子育てがしやすい町づくり。人口が増え、若い人が住みやすい町づくり。ふる里に帰ってきたいと子ども達が思える町づくり。不要な所にお金を使わず、住みやすい町をアピールする動画などでPRする方にお金を使ってほしい。
室内及び野外での健康作りのメニューを普及してほしい。過去の行事の結果だけでなく先々の行事内容も知らせてほしい。
清見はいい町なので、移住者を増やして空き家が少なくなるとよい。この町に住みたいと思われる政策と情報発信をしてほしい。
JAのAコープがなくなるので買い物が不便になる。対策を考えてほしい。
紅葉まつり、文化祭の復活
子育て支援の充実
子どもから老人までの年齢幅の広い行事、イベントに参加しやすい環境にして欲しい（中心となる人が元団体職員ばかりで民間人の考え方から離れた、当たり前でない考え方、役職上がりのやり方が多く、参加したくなくなる）。高齢者が多い町なのに診療所へ行く足だけでもなかなか福祉が上手く使えない。同居者が居るから使用できない…老若、働いているのだからもっと清見町内だけでもサービスを利用できるような工夫をしてほしい。学校の部活動がなくなる…教員の多忙から…。送迎がいつでもできる訳でない（共働きの中）。クラブに所属するには旧高山市内に行かなければ出来ない。スポーツする子どもが少なくなる。吹奏楽でも同じこと。子ども人口が少ないのに…。
紅葉まつりの中止（清見町は不向き。必要とする意味がない）。若い世帯が住みやすい地域環境作り。
高齢者への作業等の軽減。除雪、屋根の雪降ろし等の補助。
せせらぎ街道やR158などの観光客が多い道路の特定外来種（オオハンゴンソウ）等の除去
行事を少なくしてほしい。
すでに「まち協だより」での情報発信、わくわく教室の運営など、十分な活動をしてくださっています。今後も継続していただけると嬉しい。清見町は人口減が心配なので魅力ある土地にしてもらい移住者受入れなども進めていただきたい。
高齢者等の買い物支援。地域コミュニティ活動の活性化。他人事にしない地域づくりの取り組みに対する意識改革・変革など。
地域の人が集まって楽しめるイベントの企画。地元の子どもの地域の人と触れ合える企画。
誰もが参加しやすいウオーキングも取り入れた方がよい。高齢者等買い物弱者への対策を考えてほしい。
使っていない土地を活用(田畑)

更に子育てしやすい、子育てが楽しめる清見にしてほしい。そうすることで清見に住みたいと思う人を増やすことも大切かと思う。
他市のまち協ですごく行事に参加してみえうらやましく思いました。どうしたら皆楽しく参加できるか考えてみてほしい。
活気ある街になるよう考えてほしい。
夏の花火について、全く周知なく近隣の住民でさえ実施を知らずにいた。当日も見晴らしよさそうな場所でも見るができなく残念だった(低すぎるものばかりだった)。12月のオンライン文化祭について、コロナ禍でありとても良い取組だと思った。周知方法はチラシだったが、携帯でもすぐつながる様にQRコードを載せてあり良かった。
まち協の活動は必要最小限にとどめて縮小できるところは縮小し、超高齢化社会でどうにもならない人々のサポートや孤独死の予防。
災害が起きる前の避難確保。何かあった時の情報の発信。
旧清見村の伝統的行事は続けてほしい。
全国的に空き家は増えていく一方なので、仕事込みで空き家を利用すると良いと思う。
年々高齢者の方が増えていくばかりですが、車の運転が出来なくなると、歩いて行ける範囲におみせや病院がないと困る。人口が減少するばかり。移住してくれる方はどんどん受け入れられるとよい。若い方に活気づけてほしい。
役員になっている人は責任感を持ってほしい。
誰のためのイベントか？清見町内の住民が参加、見物できるようにしてほしい。災害時、避難場所が自宅と同じくらい危ない。どこへ行けばよいのか考えてほしい。
各種行事の簡素化及び見直しが必要。近年は行事の為に仕事を休む等休暇を取りにくい状況にある。
空き家が増えつつあり、管理に対する不安がある。所有者がちゃんと見てくれているのであれば良いのですが、そうとも思えないものもある。不審者や火災など不安がある。高齢化が進み、行事を行うにも人手不足になるのではと思う。町内・班での作業や行事を見ても無理をして参加してみえるのではと思うことがある。町内だけで難しい所は外部に頼ってもよいのでは。そういう所の財政について市から補助してもらえると良いのではないのでしょうか。
行事やイベントやっても参加する人はいつも同じ。内容を見直されては。
三日町のため買い物等はまだまだしであるが、家からバス停への移動(帰宅時に買い物袋を下げた状態)が年寄りにとってかなりの障害になる(雨、雪時は特に)。行事、イベント、作業等、土日中心であり、かつてと異なり、平日休みのものにとっては会社を休んで参加せねばならない事。この負担をどうサポートするか考慮してほしい。
スポーツ行事のマンネリ化。参加する人が決まってしまう。
子ども達が清見で楽しく生活出来る様に周囲の人達と関われるようにして欲しい。
当地域外の人々(ネット情報による山菜取り、谷魚の釣り人、蜂の巣取り)の山野への立入りの抑制措置を考じて頂きたい。
移住者受入れ後の支援
行事、町内会のイベント等の見直し(お金がかかりすぎるため)

空き家が多く環境も悪いし、対策を考えないといけない。
子どもの数がだんだん少なくなっている。若い人の移住者がふえるよう、子育てしやすい支援、住んでみたいと思える町づくり。
身近な地域で気軽に参加できるような健康づくりが出来ると良い。
高齢者の健康づくりのためにも歩くことは大事であり、安全に活動できるためにも遊歩道は必要と思う。
古い考えが根強すぎてちっとも発展していかない。とにかく交通網が脆弱すぎて福祉面で不便が過ぎる。
子育てでは、刃物や工具、火など危険なものを遠ざけるのではなく、正しい扱い方をしっかり教える必要があると思う。空き家がたくさんある。もう少し地域で有効的に利用ができるような制度や支援、安心な仕組みやシステムがあれば色々解決に向かうのでは。清見の良い所をもっと知りたい。探検できる機会があると移住者も楽しく、もともとの住民でも知らないことが多いのでは。
壊れそうな、崩れそうな空き家が時々見受けられます。持ち主の税金対策もあり、解体や撤去が難し事は知っていますが、こういった建物がない(より少ない)地域の方が景色として美しいし、これから移住を考えてみえる方々にも気に入ってもらえる地域になると考えます。清見の自然豊かなこの地が、より美しく、そしてその美しい自然から活力をもらえるような人々の暮らしと心の豊かさ、そこから生まれるよき人間関係—そんな循環がある地域になると嬉しく思います。
子ども達のスポーツクラブの促進。高齢者でも通えるコンビニ、ストアー、文具店、書籍等の店。側道の整備（子どもや自転車でも安心して通れる道に）
歩行道の整備（側歩道、散歩道）
情報発信（近隣の町との協力した内容など）
体育事業の中に誰もが参加しやすいウォーキングも取り入れた方がよい。免許返納者が増えていく中、買い物支援の交通手段として、予約制のコミュニティタクシー的なものを創設する。
自然環境の保護整備（滝や湿原）
親子で楽しめるイベント。子育て世代の給付。防火・防災対策の強化
Aコープの閉店も決まり、買い物難民が出ないような対策を検討して頂きたい。幼児から高齢者までが気楽に参加できる行事やイベントをどんどん企画して頂きたい。子育て中の夫婦を対象に悩みや不安を共有し、教え合えるようなガヤガヤトークのような、気軽に参加できる会があるとよい。
体験型移住や農業の短期体験。
健康づくりに関連して、高齢者にサンプルの配布等、食事指導をしてほしい。
高齢者ネットワークづくり。100歳時代に対応した60から100までの40年間の取組み。環境保全からの知識の伝達。
10年後には小学校の人数は1学年10人以下になり、30年後、更に数名まで減少することは確実。保・小・中学校をどのようにしていくか今から考えないと間に合わない。Uターンや移住者がいてくれるおかげで何とか地域が維持できているように見えるが、核家族の移住者の負担は重く、生活や子育てがしやすいとは言えず、人に積極的に勧めることをためらう。「清見、いいよ!」と言えるようになってほしい。町内会、PTA,消防団、すべて受け入れてしまったら自分の家族の生活が成り立たなくなる。本当に必要なのか議論すべき。



<p>車でしか移動手段がないので、高齢者は大変だと思う。バスも本数が少ない、店もない。子ども達も夕方以降外へ出るのも不安。公園が欲しい！！特に道の駅付近にあると、観光客も寄れたり、親子が集えるかと思う。自然を活かした子どもと(子ども同士)遊べる場所が本当に欲しい。</p>
<p>行事、イベント等は減らしてほしい</p>
<p>清見以外の地域へのイベントなどの発信</p>
<p>1 せせらぎ街道沿道修景事業は、環境保全、防災、観光、地域経済活性化等に資する事業なので、これをモデルとして清見地区の他の道路でも推進していくべきと考えます。 2 今後、更に過疎化が進み、空き家が増える一方と考えられるので、空き家の情報を適切に管理し、空き家の所有者との連絡を維持して、移住希望者を受け入れる体制づくりをすることが大切だと思います。</p>
<p>イベント等が一部の人の考えで計画され内容が一般的でない。</p>
<p>・町内会に楽しい行事がないので、参加者が固定（役員のみ）になっています。 ・高山市千島町内会では、毎年5月または10月に上高地にバスハイクという行事（町内会員は1,000円で参加できる）があり大人気です。 ・楽しい行事を作り、いろいろな人が交流できるとよいと思います。それが防災にも役立ちます。</p>
<p>長寿会による街道の草刈りも結構ですが、それよりもゴミ拾いです。放っておくと道路端がペットボトル、吸い殻、レジ袋のゴミで一杯になります。多人数でやれば後処理もできます。</p>
<p>町民大会は、参加人数にもよるがやる人も減少している気がする。そのため今後は時期をかえてやる事も考えたほうがいいのではないかな。</p>
<p>今まで通りで充分です。</p>
<p>・世代間の交流と話し合い。 ・地区の「結い」の大切さ。</p>
<p>高齢化に伴い、いかに健康で生活し続けることが出来るか。健康でいるためには何が大切なのかを家族みんなが学ぶ必要があると思います。健康に生きていくためには、いい講演に参加し、学ぶ機会が必要だと思います。</p>
<p>地域の人との関わりが希薄になる最近。これからは行政だけに頼らず、地域で助け合うことが大切と感じている。その為には、地域の人たちが気軽に声をかけ合える関係を築けるような場作り、顔を合わせる機会を増やすことを考えていけると良いと思う。具体的でなくてすみません。</p>
<p>・Aコープが無くなると聞いたが、非常に不便になる。買い物はどうする？ ・三福寺町はドラックストア等が乱立しているが、片寄りがありすぎる。新宮町あたりには建たないのか？ 農業振興地域が、若者の地域離れや地域の高齢化や魅力のないまちにしている気がする。</p>
<p>老人介護施設の充実</p>
<p>・地震、火災、台風、大雨、土砂災害などそれぞれの災害に対する訓練や知識を取り入れて欲しい。 ・年齢に関係なく健康づくりができる情報やイベントをしてほしい。体力測定とか、一年を通じてできるポイント制のストレッチ教室とか。</p>
<p>・上記すべて取り組む事項ではあるが、将来を考慮すると、次世代に対する事項を優先することが必要ではないでしょうか。 ・ゴミ分別等日常生活の中で環境を意識し、人口減少対策の一環として、現状の把握と情報発信等、行政とタイアップして展開しては。</p>

・人口減少は重大な課題である。特に過疎地域は急速に人口減少が進んでおり、移住者の受け入れは人口減に対する対策となる。その中で、移住者を増やすためにも、サポート体制の充実は必要である。
草刈り、雪下ろし等安心してお願いできる所があると助かります。広告等いろいろ出ていますが、今の世の中心配ですので、清見にそういう人の会なり、気楽にお願いできる所があるといいです。
行事・イベントの参加者が、よく参加している人ばかりで、清見町の活動として周知しているわりには結果が出ていないと感じます。根本から見直しを図る必要があると感じます。
町内会等の地域活動の削減。何役も兼ねなければ成り立たない状態!!
空き家の移住者の募集
バスを利用したくて、バス停が遠い為、濃飛バスから設置出来ないと言われた。その後、自分達がどのように動いたらよいか分からなかった。ささいなことでも、間に入っただけだったらうれしい。困ったことがないか、高齢者に対してアプローチしてもらえるとありがたい。伝えるきっかけが欲しいです。今回の調査は大変ありがたいと思いました。
もともと清見の方たちだけ楽しんでいる。参加がしにくいので考えてほしい。 高齢者の為にとくし丸をお願いしたいです。アンケートがありましたその後連絡もありません。
コロナの終息もなかなか見通しが付かず、行事やイベントの計画も立てづらいと思いますが、清見町も高齢化してきて、なんとなく活気が感じられなくなってきています。そんな中でも中高年、お年寄りにも楽しみになるような、イベント行事等の計画を考えてもらいたいです。
コロナで集まれる機会や話せる機会が減り、色々教えてもらえるお年寄りと話せる事がないので、じいちゃん、ばあちゃんからこんなこと教えてもらったよみたいなんがあるといいな。
・スポーツ行事で子どもがら大人、高齢者までが楽しめるものとしてeスポーツをやってみてはどうか。機材準備等で多少の予算は必要となるが、多くの方に注目してもらえる行事になると考えます。
車の運転が出来なくなった時、集落ごとか希望者をつのり、買い物に連れて行ってほしい。
送迎を含めた行事のあり方
小中学生、高校生が参加しやすい行事があると良い。
・高校通学用の公共機関があると良い。 ・買い物弱者への対策を早急に行って欲しい。 ・子どもから高齢者まで楽しめる行事を作って欲しい。
地域活性化の為の企業誘致（ショッピングセンター等）
現在続いている新春マラソンは是非続けてほしいです。
誰もが色々なことを学べる機会の創出
清見町の自然やくらしやすさなどの環境維持のための活動を続けてほしい。
子どもの通学路などの街灯を増やしたほうが良い。

学生などの通学路の街灯を増やした方が良い。
高齢者、福祉、防災などについての情報発信を充分してほしい。
1 各地区の役員の負担になる行事のやり方は見直してほしい。 9 まち協の職員がその様な仕事をしているのか少し分かりづらい。 10 移住者が暮らしやすい、移住者に理解されやすい、地域の活動のあり方を考えてほしい。（働く（自営以外の）人達が受け入れにくい体制（特に地域の役員、教育関係の役員など）である為。）
祭りの継承をしっかりと伝えるために、OBなどに積極的に指導してほしいと思います。
・子どもが活躍できる行事を増やしてほしい。 ・高齢者の買い物や通院等の交通手段の対策を考えてほしい。
老人と小学生とか幼児が一か所で過ごせる様な場所を作る（造る）
紅葉まつりイベントは新しい企画で考えたほうがよい。
高齢者の健康寿命がのびるための取り組み（生きがい作り）
家族と一緒に住んでいない高齢で車の運転が出来ない方へのサポートが必要だと思います。
・移住希望の方の相談（とけこみやすい環境づくり） ・行事も年寄りから子どもまで広く参加できるスポーツのつどいなど（牧ヶ洞ペタンク大会など） ・地域の良さと子どもたちに伝える行事（文化財ツアーなど子ども会と連携する。）
冬期間、雪で外のウォーキング等ができず、運動不足になりがちなので、ドームやB & Gなどをウォーキング可能時間を設け、清見の住民に広く開放してほしい。（できれば平日、休日ともに19時から21時頃がありがたいが、空いている時間でいつも同じ時間ならありがたい。）
若い世代・子ども達が楽しめる地域コミュニティ活動をして行きたい。
行事等はなかなか参加しにくい。誰もが楽しく参加できるような、やわらかくてやさしい雰囲気づくりをしてほしい。
引っ越ししてきたばかりでまち協さんの活動や体制を知らないのですが、地域と小中学校がつながり、地域の人が活躍できたり子ども達がふるさとのことを知り、愛着を深めるような機会がたくさんあるとうれしいです。清見に住みたい人はたくさんいると思うので、空き家がうまく活用されたいと思います。郡上和良の取り組みがすてきです。高齢者も暮らしやすく、楽しみ・生きがいを感じられるような事業があったらなと思います。（ふれあいサロンのな）
行政とまち協でのすみ分けを行うことで、運営を効率化して行ってほしいので、行政が難しいであろう市民等への情報発信はSNSを利用するなど、手段を増やしていけると良いのではないかと思います。
スポーツイベントについて、知っている人は知っているし、知らない人は知らないことが多いと思う。イベントを実施する時の周知の方法を変えてみた方は良い。
コロナも少しずつ落ち着いているので、紅葉まつりのようなイベントを復活させ、地域を盛り上げてほしい。中高生や若い世代が清見にいて楽しいと思える機会がないと清見に残る人はいなくなると思う。
町内会でも人々の付き合いが薄くなっていると思うので、幅広い年代が参加し交流できるようなイベントや取り組みがあると良い。

高齢化が進む中で、まち協に携わる者も高齢者になり、現役世代しわ寄せがきている。まち協の仕事は行政に戻すべきと考える。
行事等の見直しも大事ではあるが、コロナ渦でもできる住民交流の場や市行政の情報発信をしてほしい。少子化の中、移住者促進やアパートなど住居推進を積極的に行ってほしい。
まちなみバスの範囲を清見支所までにしてほしい。
高齢者の働ける場所、仕事の確保をしてほしい。
地域の住民が中心となり、色々な年代が参加できるイベントを実施してほしい。
老若男女を問わず、参加しやすいイベントを開催してほしい。
高齢者等の買物弱者への対応をお願いしたい。
町内会費を安くし、移住者が入りやすい体制づくり。
まち協だよりの内容を、より濃いものにし情報発信に役立てる。行事・イベントが多すぎるため内容を濃くし数を少なくしてほしい。
清見町地内に商店（コンビニ等）が欲しい。
子育てのコミュニティがあれば自然と大人同士の和ができると思う。大人と一緒に学ぶことで親子の絆ができたり、大人も学べる場になる。そうした環境ができたなら移住者が増えると思うので、移住者受入れや空き家対策が必要である。
町内会との連携
町内加入について市が進んで加入を促す。
地域と行政と積極的な仲介
地元消防団と自治消防との合同訓練・研修
行事等の参加を強要されるのが苦痛なため、地区に住みたくないと離れてしまった人がたくさんいます。人の付き合いが苦手な人やコミュニケーションを取るのが嫌な人もいるので考えてもらいたい。
コミュニケーションが深まるスポーツ系のイベントを増やしていくと良い。
住民の防災意識の地域差・温度差が非常にあると感じる。ボトムアップと積み上げが必要。
事業を見直しを行い、より多くの住民参加ができるイベントの実施。高齢者の生きがい・働きがいのある事業の検討。
それぞれ個人的に趣味を持っている人が、集まったり活動できる機会を作ってほしい。個人負担でよいのでもっと各種大会を行ってはどうか（ボーリング・体力測定など）
子ども達の遊び場がない。
健康面でのトレーニング施設があると良い。
高齢者入居施設が必要
自然農法の推進。食の安心安全についての勉強会。

老人会草刈の中止。
まち協女性部の組織をなくす。
住民が健康になれるような情報の発信やイベントの開催。
ウォーキング・ハイキング等楽しく体を動かし会話が進む行事。健康食などの紹介。
高齢者が多くなるので医療に力をいれてほしい。
ウッドフォーラム前広場の利用。ふるさと祭りの小型版を月に1回ペースで開催。
住んでいる地域の歴史・自然をより深く学ぶ機会があると良い。
長寿会・サロンで会員の減少が進んでいるので良い対策を望む。
高齢者向けの体操教室があると良い。
移住者希望の情報
保育園までの無償化
子ども会を清見町で1つにする。
定期的にごみ拾いなどを行うイベント開催。ポイ捨て対策。
取り立てを含み行事の縮小。
健康づくりに関する勉強会の開催。
長寿化会の行事が多すぎ、役員の負担が多い。
商業施設の誘致、農地の住宅化により移住の推進。
補助金制度の設立
CO2削減のための学習会の開催。
わくわく教室は、親・子の情報交換や交流にとっても役立っている。
体育事業の参加についてチーム編成に苦労している。大会自体限界がきているのではないか。
防犯カメラの増設、見守り強化。
Aコープ廃止の影響が大きい。現実には現実として受け止め、自分の将来は自分で責任を持つよう啓発していくことも大切。
行事は今ぐらいで丁度よいのではないか。
認知症の発症を防ぐために、皆が気軽に参加できる運動の機会を作った方が良い（子ども会で行っているラジオ体操など）
車を持っていない高齢者への食料配布
寿りんご続けてほしい。遠方版ウーバーイーツ。
昔ほど必要性が無くなっているイベントについては、今後無理に復活させる必要はないと思う。

紅葉時は多くの方が訪れており、紅葉まつりは今後も実施しなくても良いと思う。イベントを行うのであれば新緑や冬などの時期に考えたかどうか。

高齢化は避けられない事象のため、足のない高齢者が利用できる交通手段サポートがあればよいと思う（例えば、週2回程度の、どこでもタクシーのようなシステム）。高齢者に関して、個人個人どんな生活を送ったらよいか、その人に合わせた方法を知らない。介護に至らない段階で実践すべきことを個人にカスタマイズして教えてほしい。産業の育成、導入が必要と思われる。

事業が縦割りであり、横展開の広がりが無い。行政、社協、まち協など横串を通す予算や活動が必要であり、町民主体事業があるといい。

**問18) 今後の清見小中学校のあり方についての具体的なお意見 (同じ内容の意見についてはまとめて記載しています)**

地域から子ども達の声が無くなるのは非常にさみしい事なので、統合ではなく、地域に学校は残してほしい。子ども達には良い方法ではないかもしれないが、地域の子どもの成長してほしい。

小中一貫校がいいと思う。

行政としての考えを示して欲しい。

学年を合わせたとして、子どもたちの理解度が損なわれないよう、教員のみられる数に配慮しながら、また子どもたちにとって環境が変わることがどのような影響を及ぼすのか、子どもたち自身にアンケートなどを取って行う必要がある。

高山市となって中学校の校区の見直しが必要だと思う。八日町の生徒を清見中へなど、近隣の学校との生徒数調整をお願いしたい。

複式学級でも、先生や職員をしっかり確保して頂いて、他の学校と格差のない教育を受けれる様にして下さい。教科によって教員がいない事もないようにして下さい。

新宮小、松倉中との合併。

小中一貫の義務教育学校に。

近隣の学校との統合がいいと思う。

白川村のように小中一貫の義務教育学校にしてほしい。

白川村、荘川町は小中一貫校へ転換。児童の減少は避けられず、一貫校は現実性といえよう。教育方針や施設等に独自性を考慮できる可能性あり！ただし予算面では市財政負担を強いることに重要である課題かと思い提言します。

多くの経験をさせて欲しい。人間関係で悩まない教育をして欲しい。

子ども達がもっと伸び伸びと学校生活を送れる様に環境作りをして欲しい。コロナの問題もあり難しいと思うが、地域が一丸となって子ども達の教育や安全に気を付けていけたら良いと思う。

複式学級や小中一貫となる場合のメリットとデメリットを明確にして検討する必要があると思う。

少人数でも全員に行き届いた教育をしてあげてほしい。

小中一貫でうまくいくようであれば考えるべき。清見地域も少ないが、荘川地域はさらに減少しているので統合もありかと思う（高根・朝日・久々野みたいに）。学年で少人数は子どもがかわいそう。

少子化が進む中、今後複式学級、近隣の学校との統合もその時に応じて考えていく必要がある。

清見は広いので近隣との統合だと思うが不便になりそう。

清見町では絶対にいじめの無い協力し合う教育である様に。

小学校・中学校同じ校舎にしたら良いと思う。通学やその他にも便利なことが多いと思う。
義務教育学校＋保育園の一体化が良いと思う（同じ敷地内）。
少数学級でも学級数は減らさない方が良いと思う。
白川村のような小中一貫義務教育学校もよいかもしれない。近隣の学校との統合も、スクールバス等の利用になると思うが、部活動の廃止やクラブ活動の開始、各々行政がかなりのバックアップを希望する。
少人数でも清見のみの小学校中学校であってほしい。そのために小中一貫の義務教育学校でも良いと思う。兄弟がいる家庭であれば一貫の方が子ども達が関わる人数も多くなり、よりお互いが成長できる環境ができるかもしれない。親にとっても行事等(役)調整しやすくなるのではないかと思う。
未来ある子ども達なのでもっと勉強・運動などやる気を出させるよう、先生はじめ親たちも考える必要があると思う！
あまりに少数になってしまうなら、統合の上、多くの友達と過ごせる環境の方が良いと思う。
子どものいる家族の移住ができるような企画をする。
白川村のように義務教育学校にして、小・中の枠をできるだけ取り去り、内容の濃い教育を！清見町独自の取り組みを進め、清見でなければできない活動をフルに活かす(多様な体験を通して心豊かな子どもを育てる)。
校区の再編成。高山市の八日町、前原町、木の里団地のあたりまで清見小中校区に（そうすれば子どもの数が増えるかな）。
全市的に学校区や複式学級制などの状況を見ていく必要があると思うが、子ども達の将来を考え皆で知恵を出し合い、より良い小中学校のあり方を話し合う事が必要。
小中一貫の義務教育学校という形でも良いと思う。子育てしやすい地域にして移住推進等これ以上減らさない工夫も必要かと思う。
保育園と小学校と中学校一貫の学校があったらいい。
小中一貫校でも良いと思う。上の子どもは下の子どもの面倒を見る。そんな優しい心遣いができる。勉強にしてもすべての事に良いのではないか。
複式学級になるのは、近年増えていっているのでもうどうしようもないと思う。学校の統合も10年、20年先にはあり得るか。1クラスに2人、3人となると子ども達が色々和我慢することが増えるように感じる。
複式学級も仕方ないと思う。
川の近くに建つ学校を、もっと安全な所に作り、白川村のような一貫の学校を、と思う。清見町の子ども達は清見町で学んでほしい。
通学時間や地域とのつながりを考えた対応をしてほしい。単に、少人数だから学校をなくすということがないように、子ども達のためになることを考えてほしい。
子どもが少なくならないように子育て支援をして欲しい。よそからの人も住みやすくし、子ども達を増やす。
他校と差が出ないような教育をしてほしい。
子どもの家族が豊かに暮らせる環境を考えれば、子どもは自然に残ると思われる（親の税の軽減等や子育てを徹底支援すればどうでしょうか）



人数が少ない分、一人一人の個性を伸ばせる自由な発想の教育があればよいと思う。
小中統合しなければならなくなった時は、やむをえないかもしれない。難しい問題です。
荘川等と統合がよいと思う。
学業一辺倒ではなく芸術に触れる機会をもっと増やした方がよい。
近隣の学校との交流や学びを取り入れたら良いと思う。一緒に運動会、文化祭、音楽活動、また修学旅行など、少人数よりも大人数の方が良いと思われる行事など。
若者が都会へ出ていく割合を減らしていかなければ、高山市は年寄りだけになっていくし、子どもは生まれない。高山市全体で取り組んで魅力のある、そして生活が成り立つ産業と農業を活性化し、大学を早く創設すること、高山市が元気になれば逆に都会から移住して来る方が増えていくと思う。
小中の子ども達に、小中一貫の学校にしてほしいかアンケートをとる。
校区の見直し（八日町、前原町を清見地区に居れるなど）。移住をすすめる魅力的な町づくり。
すでに他の地域では小中一貫などの対策がとられている所もあるので、そういう所から情報を集めて検討してもらいたい。
清見の学校を出たことが誇りとなるような、そんな特長のある行事とか先生方との関係が子どもの心に残ればよいと思う。
子ども達のためには、統合して大人数の中で切磋琢磨した方が成長できると思う。しかし、地域活性化の大きな柱となる学校なので、そのデメリットを十分に考慮する必要がある。
小中一貫にしながらも、清見でしかできないのびのびとした教育（特色のある教育）をしてほしい。
子どもの人数が少なくなる利点を考えて、一人一人の個性や特性をのばすような教育システムをかんがえるべき。
美味しい給食を食べて育てて欲しい（地域で育ったもの、自然に創られたもの）大人になっても土台になる。未来ある子ども達の体づくりは大切だと思う。
他の学校と統合してしまうと、通学が大変な所も出てきてしまうと思う。
小中学校を統合し、義務教育学校にした方がよい。保育園もその近くにあるとよいのではないか。
新1年生が10人程度だと聞いている。あまりに少ない人数だと学び合いの機会も少なくなっていくと思うので子ども達の学びに必要な環境を、親や地域の方が話し合って決めなければならないと思う。義務教育学校なら～になる。複式なら～になる。というように～の部分皆さんに分かりやすく示す事が大切だと思う。近隣との統合は、通学時間が1時間もかかる子が出るので厳しいと思う。
自然豊かな環境で、感性を磨き、国際観光都市の一部として国際感覚を持ち、デジタル、ネットも使いこなし、都会と同等かそれ以上の真に豊かにくらす力を身に着けさせる教育をしていく必要がある。もっと地元の産業に関わることで、生きていく力を育てる最先端の義務教育学校にしていけないと本当にこの地域はダメになってしまう。

<p>清見という枠に留まってしまうと、子どもの人数が多くないので団体競技など格段に視野が狭まってしまう。やりたい事の選択肢や友達が増える事で個々の能力やモチベーションの上げ方に繋がってくると思う。小さい頃から色々なことを見て、聞いて、学んで、やってみる事でその子の経験値として吸収し、後に大きく影響してくると思う。知っていると知らないのでは全く違うので、もっと子ども達を知る経験ができる環境、小中の縦の統合ではなく、小中のそれぞれの横の統合が出来れば選択肢の中が増え、経験値としては大きく変わってくるのではないかと感じる。</p>
<p>これから就学予定ですが、同級生の人数が少なく、交流も含め不安。子ども達は友達との関りの中で学ぶことは沢山あると思うし、人数が少なすぎると、交友関係で何かあった時に行きづらかったり、輪に入りづらかったりしないかな？未来の選択肢を広げるためにも近くの学校と合併してほしい。縦より横の繋がりを増やしてほしい。</p>
<p>小中一貫と、近隣の学校との統合と、どちらもいいと思う。未来ある子どものために色々考えて行けばいいと思う。</p>
<p>中学校の体育館の工事前はこのアンケートをするべきじゃなかったのか。小中一貫にしていった方が良く思う。また、役員も小中合同で減らせるとよい。このアンケートをして何か動きがあればいいなと思っている。何も動かなければただただ減っていくのを見ているだけ。</p>
<p>子どもが少なすぎるのならば小中一貫でいいかもしれない。ただ、いじめ等がよりひどくなる可能性もあるので、心を大切にする教育も必要だと思う。</p>
<p>複式学級では、教師、生徒の双方にとってマイナス面が多いと思います。高山市として考えると統合の方向が望ましいと思います。</p>
<p>色々なパターンはあると思うが、決めるのは早い方がよい。</p>
<p>少人数の良さを出せるような、一人一人を大切にできるような学校であるといいと思います。田舎の良さを出してほしいですね。</p>
<p>複式学級には反対です。少人数が問題なら近隣の学校と統合が良いと思います。</p>
<p>複式になったとしても地域の学校を残してほしい。</p>
<p>小中一貫になると、人付き合いが少人数に限られるため、友達づくりに苦労する。クラブ活動だけでも近隣学校と共同できるとよいのでは。</p>
<p>一貫教育は早々に検討する。デメリットよりメリットの方が多い。</p>
<p>子どものスキルが低いと感じます。（義務教育以外） 現場体験等が不足し、昔と変わらないうえ、"押し付け教育"がより強くなっていると感じます</p>
<p>近隣が遠いことで、統合も難しいだろうと思っていた。</p>
<p>清見町には店等も少なく、生活しやすい地域とは言えないので、今後人口を増やすことは厳しいと思います。子どもの数が少ないなりに、規模の大きい学校にはない良い点もたくさんあると思います。（顔だけじゃなく名前も知っていて仲が良いとか、下級生の面倒もみて年齢を越えて触れ合いがあるとか…）協調性も生まれるのではないのでしょうか…</p>
<p>私は子どもがいないけど、清見で育ったので、子どもたちが元気よく行ける学校はあってほしい。</p>
<p>国で、子ども一人出産のたびに、500万くらいの祝い金を出し、どんどん若い人が結婚して人口を増やすことを考えたらよい。</p>
<p>清見小、清見中はなくならないようにしてほしい。</p>

<p>・複式学級が必ずしも悪いわけではないと思います。 ・小中一貫というのも一つの方法かなと思います。 ・他学校との交流会等もあるとよいのでは。統合はしない方がよい。</p>
<p>統合等はいじめの原因になりかねないのでやめた方がよい。</p>
<p>・傷害に知識のある先生を小学校に派遣して欲しい。 ・統合の必要はないと思う。支援が必要な子が、学校が楽しく行ける場所にしてほしい。</p>
<p>近隣の学校との統合はやめてほしい。支援学級の先生をもっと知識のある方にしてほしい。小学校に支援学級があるのに中学校へ行くと知的の子は支援学級がないためつくってほしい。</p>
<p>複式学級になっても近くに学校が有る事は大事なことだと思います。</p>
<p>P T Aや地区（子ども会も含めた）役員のあり方（決め方、職員の負担を増やすなど）早急に考え、変えていく必要があると思います。今現在の清見町（保・小・中）は、親にとって負担が大きく、移住をやめてしまった方も実施居ます。色々な職業の人達から意見を聞いて、決めていってほしいです。他所では、P T A会長は校長が担当するなど、見直しをされている所もあります。</p>
<p>スタープロジェクトでは、少人数学級には学力を上昇させる因果効果があったことが示されています。費用対効果は低いと言われているが、人数が少ない清見にとっては、わざわざ統合せず、支援が受けられる限り、現在のクラスを続けられる方法を考えたほうが良いのではないかと思います。学力が全てではないと思いますが、コミュニケーション等に関する課題は、別の方法で検討できれば良いのではないのでしょうか。</p>
<p>・新宮か八日町を含めた区域を考えるなど。学習にベストな人員を考えて、小中一貫などの清見地域だけにこだわらず、幅広く教育第一で考えていってほしい。 ・中学部活などが近隣の学校と共同で行うことになっても、親の負担にならない送迎体制など工夫をお願いしたい。</p>
<p>新宮小の在籍数が増えているので、その一部を清見に統合するか、荘川との統合が良いと思う。複式学級は、1人での学習時間（先生に教えてもらえない時間）が増えるため、雑音が苦手な子の妨げにもなるので良くないと思う。教科担任制への移行も考えると、教師も不足していることから、統合するのが良いと思う。</p>
<p>今の子ども達が地元で子どもを産まないことは、必ず清見小も清見中も存続しなくなる。そうならないためには、今の子ども達への地元愛意識を高めることが必要。清見の場合、旧高山市に近いので子どもとしては、少しでも田舎のイメージより統合した高山市の小中がいいと思います（スクールバスで）。小規模校だからこそこできる教育内容を、より充実してもらえたらうれしい。近隣の学校との統合は、通学のことや清見町内の地域との結びつき、愛着の面でも望ましくないとします。</p>
<p>中学校は近隣の学校と統合した方がよい。その理由は将来的に高校へ進学したり、部活動をする際は人数が多い方がメリットが大きいからだ。しかし、小学校は特別支援学級など少人数で密着した授業を行える良さを活かし、複式学級にするなどして残していくべきだと思う。</p>
<p>コロナ前は小中合同の運動会を開催するなど小中学校の合同事業が多かったように思います。今後の流れとして、白川郷学園の様な小中一貫の教育学校になっていくのではないかと思います。（メリットこそ多かれ、デメリットはさほどないのでは）</p>

子ども達の思いを聞き考えるべき。
小中学校のあり方も大切であるが、少子化となっている原因を考え、親世代が子どもを産んで育てられる環境を整える事が大切であると思う。
統合すると通学が大変なので今のままで良い。
進学がある中学生を優先的に考えると今のままだが良いと思う。
全国的に少子化が進む中で、10年後20年後の教育課題を究明し、清見小中学校の一番良い方法を検討してほしい。
小人数は授業についていけない等、落ちこぼれる子どもが無くなる点は良い。
小中一貫校には賛成ですが、その前に人口減少を止める為の市有地等への企業誘致や市民税等の減額、地元就職に対する優遇処置が優先と思う。
統合より一貫校の方が良いと思う。
これまでの学校のあり方にとらわれず自由な学校のあり方を模索していく必要がある。年齢や所属に関係なく参加できる授業やクラブ活動など。
清見の考えが閉鎖的。白川村のような考えがない限り、小中一貫校にしたとしても清見に子どもは増えない。住みたいと思えるまちづくりが一番大事。
それぞれの地域での子どもの良さを伸ばすため、統合はできるだけやめてほしい。
小中一貫校で校舎も一つで良い。
統合が良い（清見に拘らない）
近隣学校との統合だと登下校の距離が益々遠くなってしまう。
クラスメイトは多い方が良いと思う。
教員などの効率で進めないで、子どもファーストで将来を見据えた施策考える。
生徒数が少ないなりの利点を活かせるような授業内容・生徒と先生の関わり方を考えていくべき。より細かい対応ができるような環境づくり方が、他校との合併より大切。
複式学級も良い面もある。
清見に学校がなくなるのはさみしい。
保護者の話を聞く
山村留学的な受入れ
住民と共に考えていく体制を早く進めないと地域が衰退していく。
子ども達がのびのびと教育が受けられる体制をお願いしたい。保小中一一貫でも良い。
小中の統合し、施設の有効活用と合理化を促進。
複式学級にも良さがあると思う。個々に併せた丁寧な教育ができること。地域全体で子どもを育てていけることを生かしていければと思う。
池本・大原のように複式でも子どもは大きくなっているので特に問題はないと思う。

統合は、これ以上遠くなると通学が大変なので困る。複式学級や小中一貫校によって子ども達へのメリット、デメリットを知りたい。

校区の見直しがあると良い。八日町などは清見中に近いのではないか。

**問19) 今後の地域づくりの進め方についてのご意見ご提案（個人が特定できるような回答は記載しておりません）**

各事業への活動参加人数は、少人数地域については免除枠を計画してほしい。
まちづくり協議会の方々本当にご苦労様です。暮らしや地域活動を一生懸命見守って下さり頭が下がります。どうかこれからもよろしくをお願いします。
災害時の孤立する場所の把握や避難場所の見直しと整備。
限界集落となる区が増えていく中で、役職を選出するのは難しい。広報などで他町内の行事の記事を見ると、清見町の行事が少なく感じることもあり、住民の減少もある中、矛盾なことを思ってしまう。コロナ禍で季節の行事がなかなか開催できませんでしたが、今後は開催していただきたいと願っている。人と人の密集を避けながらの開催は困難でしょうが、イベントは続けていただきたい。
コンビニがなくて不便。清見にもコンビニがあれば、高齢者の方や急に必要な物ができた時に遠くまで行かなくていいので有り難い。
町民のためにありがとうございます。
役員の負担が重すぎるので、もっと楽に役を進められる様にしないと今後入会者が減る恐れがある。
高齢者・・・！！ しかし清見町にも働き盛りの若者、独身者の多い事。この方々の伴侶を求める事、少しでも解決できれば活気ある地域となる事を信じてやまない。お世話役(行政) お願いします。
人数が減ってきているので、地区ごとに行っているものをまとめてしまってもいいように思う。
問題点が多すぎます！整理して提示するのが難しい。次回アンケートまで考えたい。
人づくり、地域づくりにはボランティアの人達の力が欠かせないと思う。そうした人々の組織づくりを進めてほしい。
清見観光協会の活動をどのような方針でやってみえるのか少し理解に苦しむ。本当に清見の地域の方々の事を考えて活動してみえるのか？清見地区を活性化させようとして活動してみえるのでしょうか？ウッドフォーラムの施設を最大限に生かして、清見の為に活動できているのでしょうか？近年はコロナの為に色々な行事が中止になっているので、難しいのかも知れませんが、もう少し見直して頂きたい。私は清見観光協会の会員ですが、今の活動には納得できません。他の地域の方々を呼んで安い出店料でイベントを開催してみえますが、その様な使い方をされるのであれば、会費制は無しにして、しっかりと出店料を請求してやっていただきたい。この様なやり方が続くのであればもう会費は払えません。どなたかご指導の程よろしくお願い致します。
毎月のまち協だよりは楽しみにしている。
バスの本数を増やしてほしい。
老人世帯等を孤立させない様にする。
少子か問題は、若い人に結婚相手を探してあげる婚活の勧めが大切だと思う。
役員(班長等) の負担を減らすようにしてほしい。

<p>少子高齢化は、突然何か解決されることはないけれど、清見町は住みよい町にしていく努力とアピールは必要。若い人がもっと暮らしやすい環境で、地域の行事など負担を減らす必要もあると思う。とにかくSNS・動画の時代です。積極的にアピールしてほしい。</p>
<p>若い人たちが住みやすい、子育てしやすい地域づくりが必要なのではないかと。清見は素敵な自然もあり住みやすい場所なので、良い所をもっともっとPR！！</p>
<p>コロナ禍で地域のつながりや人とのつながりが薄れてしまい残念。世の中が変わっても失くしてはいけないものは人との交流です。</p>
<p>歩道や車庫の前に買い食いした袋やゴミを捨てていく者がいる。住民のモラルをしっかり指導する様にして頂きたい。</p>
<p>仕事の都合上、土曜日、日曜日の行事には参加しづらいのですが、地域のために役に立てればという思いはあるので、そういった活動しづらい人が出来る時に出来る事をやらせてもらえばいいなと思います。他の地域から移住してきたため、この良さと不便さも両方感じています（三日町なのでそこまで不便ではないですが）。とても魅力のある場所だと思うので、移住される人がもっといればいいと思います。そのために、公共交通機関(特に夜のバスが少ない)の充実は、子ども達のためにも必要だと感じます。</p>
<p>三日町に住まわせて頂いてありがたいの一言につきます。生活の基盤が何もかも近くにありとてもありがたいです。</p>
<p>どこの集落でも高齢化していくばかりなので、特に冬は屋根の雪降ろし、家の回りの雪かきなど大変困っていると聞きます。雪またじは誰でも大変な仕事ですが…。困っている人を手助けしてやってほしい。</p>
<p>色々な努力をされている事に感謝します。住み良い清見町になる様によろしく願います。</p>
<p>JAが赤字運営は分かりますが、清見町内にはJAスーパーしか食品の購入手段がないのに、JAを廃止するのであれば（仕方なく）代替りのものをしっかり成立させてから進めて頂きたい。交通の便はない、食品購入の場はない、益々清見町での暮らしは不便であり、若い者は田舎(実家)へ帰ることはなくなる。時代は変わってきているが、Uターン…で団体職員も寿退社を命ぜられた(条例にはないことを) 事までしても、現状は若者は戻らない…。同じことの繰り返し…。まちづくり協議会もやはり元団体職員の席。民間の目線にもっと見てみてほしい。</p>
<p>今のままでは、10年後の清見町は後期高齢者のみの悲惨な状況になる。地域行事は仕組みをよりシンプルにする見直しを！（神社・仏閣を含め「しがらみ」を捨ててシンプルに）</p>
<p>いつも子どもたちにたくさんの経験をさせていただき感謝しています。これからも子どもやお年寄りが安心して楽しく暮らせる町づくりを期待しています。</p>
<p>高齢者になり、地域の作業等への参加も精神的に負担になっている。免許証を返納してからの交通手段の不安も考える。</p>
<p>高山西インターやせせらぎ街道など、外部からの玄関口や人の流動の多い主要道を有しているが、ただの通り道にしかになっていない部分を何か出来ないかと思う。</p>
<p>衣食住が柱になっているが、清見町は買い物難民が出る可能性が高くなる(JAコープの閉店等)。コンビニ、小売店の閉店で増々厳しい状況になっている。高齢者が増加していく傾向にあり、公共交通機関を使って買い物に出掛けやすい環境づくりを！のらまいカーの旧市内便と支所地域便をつなげば、交通費の心配なく買い物ができる！（今は三日町で高い定期便に乗る必要がある！）</p>

若い人たちや移住者たちにとって負担の少ない地域活動、行事になるように。地域にとけこむには、こういったことは必要と思うので全く無視というわけにはいかないと思うが、核家族が多い中で、必ず地域活動や行事に出ようと思うと無理が多くなると思う。例えば地域行事に参加(人足として出役が必要な時)出来なくても、他の参加者がそれを受け入れる(理解できる)ような地域としていく必要があると思う。こういったアンケート、QRコードでweb形式にしてはどうですか？QRコードを読み取って回答する方法はもう皆さん慣れていると思いますよ。

コロナ禍により行事等が中止又は制限をしながらの開催となっているが、地域コミュニティ活動が希薄化している中で以前のような地域の絆を作り出していく事が急務だと感じている。まち協の役員の方々をはじめ活動に関わる方々の負担も大きいと思うが多くの町民に負担を分担できる、負担を担ってもらえるように地域づくりの体制整備が出来ればより良くなるのではないかと感じている。

地域で一丸となって清見を守れるようなイベントをやっていくといいと思う。

人口の割に集会所がたくさんあり、維持費や掃除などの負担が多い。集会所をなるべくまとめるなど、ひとつの地域にひとつでよいのでは。一軒家に住んでいるのに共益費が高い。

公民館的な役割の施設が多い。掃除が多くまわってきたり、軒数が減っているのに、維持費が負担になってくる(町内会費が高い)と思う。

地域の祭りが2日間に亘り日程を裂かれるため困る。高齢化で準備1日、片付け1日も出る事もありとても負担となっている。簡素化してもらいたい。役員さんで年5~6回神社の行事をされているがその役員が大変だと思う。やりたくない。当たり前の様に季節の集金袋が配布されてくるのもいかなものか。神棚のお札だけでよい。

超高齢化で若い人が少ない中で色々なことをするのは負担になる。最小限必要なことは残して、生きるのに必要なこと以外は省略してシンプルなシステムを作る。

清見町にデジタル会社など入れてほしい。もっと人が増え、全国から人がくれば良いと思う。

清見町に岐阜、名古屋の会社が出来た方がよいと思う。

清見町も高齢者が多く、近くにはスーパーもなく、老人の買い物が心配。テレビ等で見る買い物タクシー、病院へのタクシーがあると有難いと思う。

地域活動行事には出来る限り参加したいと思っている。

各地区の公民館は1軒でまとめてあまり困らないと思う。維持管理の方が大変(神社の行事も人手不足です)。地域の方の負担を軽減してけるとよい。

一部の人達だけで進めているように感じる。何をやっているのか知らない人も多いのでは。高山市になって、旧高山市内は何でも意見が通っていますが、

要望事項等が行政になかなか反映されない。

居住者が減っている現状、行政を含めて対応を早急にせねばならないのでは。

地元で働ける場所を増やし、若い人たちが出ていかない様にしたい。

池本野切から三ダ谷を通して県道へ通行できる道路を防災の時に使用できると、あの時に作って良かったなあということがあると思う。

老人ばかりになると何もできない。



<p>地域活動、行事を詰め込みすぎない。やるのであればきちんとした組織作りとその継承をしっかりと行わないと負担が増えるだけ。全住民の協力が必要であり、理解が得られないのであれば、行事の選択と集中が必要である。単年で行事計画を立てるのではなく、任期内で計画を立て、行事を分散させたり、課題解決に向けた取組みを最優先すべきである。</p>
<p>以前からやっていることをこなしている様を感じる。やらないといけない、人数が少ない分出ないといけないという感じがする。昔からやっているから今も続けなくてはならないという方法より、今の現状からやった方がより良くなることは何かを一度考えると、負担やプレッシャーが減り生活しやすくなると思う。</p>
<p>地域の人が減っているのに昔のままやろうとする為、若い人が全部やる事になり大変。</p>
<p>まち協は本当に必要ですか？</p>
<p>高齢者の方が安心して暮らせるような仕組み、特に一人暮らしの方の生活の配慮が行き届くと良いと思う。</p>
<p>町内での人材の活用を積極的に行ったら良いと思う。特技のある方や、能力の優秀な方々を掘り起こして、立案したり、実行に移したりと、住民のニーズに応えることが可能になるのでは。</p>
<p>車の運転が出来なくなった時の暮らしが心配。</p>
<p>イベントを積極的にやって下さっていることに感謝している。イベント広告を、もう少し範囲を広げて配布しても良いと思う。</p>
<p>雪かき地域活動で、小学生が通る所しか雪かきがされておらず、中学生の通学路が雪かきされなくて道を歩くことができなかった。</p>
<p>清見に移住して20年。近隣や班の方々はみな優しく気持ちよく暮らしておりますが、近くにお酒がいただける店がなく、高山の市街地でお酒を飲むと帰ってくる手段がタクシーか代行となり、お金がとてまかかります。高山市は南北には酔っ払いバスやJR等優しい制度がありますが東西には全くありません。せめて22時頃に帰れるバスなど、公共交通機関があると若者の移住者も増えるような気がします。また、清見から旧市内へ移住される方が減るかもしれません。清見に暮らしている方でその点を望んでいる方は多いと思います。</p>
<p>地域の優しい方々に支えられて毎日があることにまず感謝しかありません。この優しい雰囲気が出る限り長く続くよう、皆さまが心穏やかに暮らせるよう一日一日丁寧に過ごしていくしかないなと思います。</p>
<p>企業誘致など、若者のUターン、Iターン、Jターンなど、人口の増加が見込める公的事業。</p>
<p>小・中学生の礼儀の正しさには感心しました（学校教育が行き届いている証拠ですね）。</p>
<p>町内で高齢者が通える何でも屋（コンビニ店）</p>
<p>高齢となって特に具体的な要望等はありませんが、同じ清見に住む住人として清見に住んで良かったと思えるよう親しみのある声掛け等が出来たらよいと思う。</p>
<p>アンケートの結果をどうとらえ、どう生かしていくかが今後の地域づくりの進め方の指針になることを祈りたい。第一歩としての、このアンケート調査は躍進的と思う。</p>

祭りや消防団等、なくす事のできない行事等は必ずある。しかし、人口減少等により、やり手が少ないのは現実かと思う。これらを他地域からと共同して行うという事もあるかと思う（例えば、旧高山市との共同等）
生活等の利便性を良くすることが定着につながるため、より街の機能充実が必要。
高齢者が多くなる中、清見町に介護タクシーの導入を検討してほしい。
高齢化にともない、介護タクシーの導入をお願いしたい。
まちづくり協議会会費一人2200円。町内全体の総予算が知らされていない。会費は払っているが活動内容が明らかでないので疑問を感じている。牧ヶ洞町内会の納付金が1か月平均とても高い。低所得者にとっては辛い金額。現在の納付金額では新規移住者を呼び込むことは不可能。
少子化を少しでも軽減させるため、若者が清見町に住みたくなる様な活動をして頂きたい。
みなさんが各々生活していることが充実出来たらいいなあと思う。
若い人口が増えるように住みやすい地域にしていかなければと思う。働ける世代が増えないと、福祉サービスの担い手さえ確保できなくなる。若い世代の人口を増やすことと、健康寿命をのばす取り組みをしていくとよいと思う。
町内会の総会も収支報告するだけの形だけの集会になっている。将来について考えているようには思えない。年配の人だけで事を決めると、この地域の様に、テレビ組合が残っていたりして、Hitネットの光回線の普及が10年遅れた。この損失は甚大。同じ過ちを教育、子育て、移住推進でしないためにも先進事例の更に一步、二歩先を行く取り組みをしていかななくてはならない。自分の子どもも、清見がこのまま惰性で行けば、おそらく魅力を感じずよその住みやすい自治体に出ていく事でしょう。清見に住みながらでも都会の人がうらやむような豊かな暮らしが出来るそんな町になってほしい。
コロナ禍で自粛していた祭りを再開してほしい。伝統を継承していくためにも、子ども達に伝えていってほしい。地域の集まりも少ないので、夏祭りや秋の祭りなど地域交流にもなるし、子どもも喜ぶ。婦人会の在り方について回覧板を回すのもお互いの顔を見たり大切かもしれないが、LINEグループを作って送ってもらったり、呼び掛けてもらう方が効率が良いかと思う。新しい人はメンバーが全く分からず、担当になった時、どうやったらよいか分からないと思う。
皆にやさしい町づくりを。
自治体の活動が今より人口が多かった時代のまま。必要のないものはもっと減らしてよい。
清見町の人口が減少しており、役員が多く回ってくる事。コロナ化禍により、地域活動、行事が減ったが、無くても良かった、困らなかったものもあったのではないかと思う。
毎月の取り立てをもっと合理化してほしい。人が少ないのに役員数が多すぎる。祭りが負担。
人が少なく高齢化しているため、奉仕活動等今まで通り行うことに疑問を感じる。ただ、交流も無くなる事も問題だと思う。
部落の人口も減少しているし、行事等も縮小したり、あまり負担のない様、高齢者も増えているので色々な面で支援してほしい。

<p>清見中学校を卒業して、故郷を離れ、60才になってUターンして来ました。清見を離れてみると清見の良いところがとてもよく分かります。自分がUターンしようと思ったのは、清見に魅力があったからです。自然が豊かで空気や水がきれいであり、人もあたたかい。過疎化が進み人口も減少して多くの問題を抱えています。まち協がリーダーシップをとって行政を巻き込み、清見に住んで良かったと思えるような地域づくりを推進していきたいと思っています。</p>
<p>少子化を防ぐためにも、高校卒業後の就職先、進学先を充実させないと、子ども達が地元に残りません。また各地区の活動が多すぎて面倒なため、清見を出て高山に住む人が多いです。</p>
<p>・各地区ごとに神社、寺等があるが、人口が減少しているため統合等を考えるべき。 ・各地区の役が多すぎる為、若い人達が市内に出て行かれるので、もう少しゆとりのある生活が望ましい。 ・消防団活動について、大会等は無くすべき。又、訓練等が多いように思う。その為人口が減少している。</p>
<p>自身のおたずねの内容が具体的すぎて、個人情報収集されるように考える？</p>
<p>空き家対策、移住促進事業を支所および本庁に働きかけてはいかがでしょうか。</p>
<p>地域の住民が目目の見えるものしか見えていない。鳥のような空の上から地元を観察することが大切。20年先の地域のことを考えると怖くなる。</p>
<p>・若い人がいなく、地域活動の役職が毎年のように回ってくる。非常に負担。役の廃止、簡素化へ。 ・地域に対しての関心が前述のことなどから敬遠したい気持ち。</p>
<p>・交通が不便、高校に行く時バスがないからつうがくしにくい。行けるこうこうが限られてしまうから、ばすとか交通面においてもっと手をかけてほしい。 ・食料品とか日用品とか、急に必要になった時、買いに行ける所がないから、コンビニとかそういう物があるとすごく助かる。</p>
<p>・交通が不便。バス代が負担で本数も少ない為に、のらマイカーのような安く利用できるような制度があると子どもたちにとって良いと思う。 ・コロナ禍で感染が広がっている中でも、集まって掃除をするのは逆に不安な気がします。 ・農協がとてもありがたかったので、無くなると大雪の時など困ってしまう。 ・毎年のように役が回ってくると負担。日々の生活だけでも精一杯。</p>
<p>何をしても若年層がいないに等しい。イベントや行事を盛大に行うことが無理だと思う。せめては維持的なところを大事にして、町が荒廃とならないようにすることが継続していける町なのではないでしょうか？</p>
<p>難しい問題だから、自分で解決するしかない</p>
<p>「清見根性」の改革</p>
<p>清見町、飛騨牛は盛り上がっているが、肉のほとんどは東京等の都市へ流れたり、海外へ輸出されている。飛騨牛の発祥の地と言われているが、まったく清見町では盛り上がっていない。せせらぎレストランも新しい人が再開されたが経営は難しそうである。観光協会もスウェーデンの図書館とかやっているが、場違いの気がする。観光協会は女性しかいないので、女性目線すぎる。清見町は秋のせせらぎ街道を素通りするだけの地域のような気がする。</p>

<p>・「清見に住んで良かった」と思えるような何かがあるといいと思う。清見のお店で使える商品券とか… ・清見に引っ越したいと思ってもらえる何か特典のようなものがあるといいと思います。</p>
<p>以前は住民となって地域活動等あたり前の様に参加するものでしたが、自分の子ども達の年代は、地域よりも個が重要になり、町内活動にも参加しなくなるという流れが、小さな集落でもあたり前になってしまっていて、若い人とのつながりや子ども達とのつながりがなくなってしまっている様に思う。地域ぐるみの活動を魅力あるものにしていかないと、年代のつながりもなくなってしまうと思う。</p>
<p>町内会の人口が減り、地域活動が大変だと感じます。コロナで行事が少なくなり、楽な面と寂しい面とがあり、複雑です。日々充実した生活には健康が第一かと思えます。そのためのイベントがあれば良いと思えます。</p>
<p>清見から外に出ていく人を減らして、清見で住む、働く、育てるが、しやすい町づくりを望みます。</p>
<p>・暮らしについて Aコープの閉店に伴い、住民生活の持続性を考慮し、あらゆる知恵を出し合い、まち協としてどこまで関与できるか、むしろ住民の声を結集して積極的に働きかける事が必要と感じます。 ・地域活動、行事について コロナ禍の中、対応策を考慮して実施されており、役員の皆様に敬意を表する次第であります。 ・今後の地域づくりについて 少子化の急進展、人口減少、空き家の増加等、実態の掘り下げの中で、日常活動をどう組み合わせるか、討議、検討が必要では。</p>
<p>出役が多い。コロナによるオンラインの充実から、集合型にこだわらず状況に応じた対応ができるとよい。</p>
<p>町内の役職の簡素化が必要（人口減少により負担が大きいため）</p>
<p>大変住み良い所で満足しています。</p>
<p>・5Gが使える地域に ・移住者が増える活動</p>
<p>清見町まち協だよりをいつも楽しみに読ませてもらっています。ありがとうございます。</p>
<p>人が住みやすいようにしてくださったり、そうやってきたと思います。水もきれい自然もきれいが今後も続けばいいなと思います。都会にはない癒しが清見町にはいっぱいあれば嬉しいです。</p>
<p>ウッド・フォーラムにて行われているイベント（観光協会さん主催でしょうか？）が、中年、若年層に受け入れられてにぎわっていると感じられます。しかし、地元住民の関心が低いと思われることから、まち協さん、清見町の行事と一体でつくることできれば、より地域内でのつながり、交流ができるものとして効果的ではないでしょうか。夏まつり、ふるさとまつり（紅葉まつり）はいつも楽しみにしていますが、何か清見にしかない楽しいものを実施、発信できるといいですね。</p>
<p>祭礼の簡素化</p>
<p>移住者に対しての陰口を集会で言わない。</p>

飛騨で紙飛行機を教えている会があり、以前、宮（？）丹生川（？）で、子どもたち対象に行事を行ったところ、子どもたちに好評だったと聞きました。子どもたちの眼がキラキラしてとても楽しそうだったそうです。学校行事に取り入れてもらうのも難しいかと思うので、まち協の行事、イベントでやってもらえるといいなと思います。

コロナ禍で色々な行事が実施できず、地域のつながりが弱くなったのではないかと感じる。地元の神社の鶏頭楽への中学生の参加も現在の中3は一度もないまま卒業となってしまふ。中学生にとっても地元での大切な景色が少ないまま地域を離れていく事は、地域への愛着への影響が心配。

まち協さんだけが長いスパンで取り組めるのだから、働きかけは継続していただきたい。

自分が年をとったら、このままここに住んでいられるか不安がある。のらマイカーは支所までで、その先のバス代は高い。高山市内に気軽に出られるものがあると年をとっても安心して暮らせると思う。（自家用車以外で）

清見町に限らず、農村部は昔から農業等従事者や自営業者が意見を通す事が多く、地区外で働く主に会社勤務者などは肩身のせまい思いを強いられていると感じてきました。移住者にとってもそれは同じ感じがします。（私はこの地区で育ち、一度町外へ出ましたが、戻ってきた身です。）地域の特性も大事ですが、時代（人口減少、働き方など）に合わせた変化は必要だと思います。誰もが住みやすい町づくりを目標とするなら、もっと色々な人の意見を聞き、外からの意見も取り入れていく姿勢が必要だと思います。

新春マラソンに参加し、後日商品券をもらいました。ありがとうございました。でもあれは必要でしょうか？健康の為、人との交流の場、長年続いてきた行事でもあり、新年の始まりとして参加してきましたが、商品券…はちょっと残念な気がします。以前のように完走賞の賞状とか記念のタオルとか…。がっかりの気持ちの方が強くて子どもには伝えてません。

とても良いところなのでなるべくこのままで…。

だんだんと住民も少なくなり、役がたくさんありすぎると思います。その負担が大きすぎると思います。

自治会の役が多すぎる。高齢化で大変になり、移住者も減り、人口減少につながってしまう。

・コロナ禍において、行事開催が見送られている現状を踏まえ、まち協が率先して活動してほしい。

地域のことについて考えたことがなかった。地域の現状やまち協の活動を、知れるものがあるといいと思う。

コロナ禍でも、どんどんイベントか行事を行ってほしい。

公共交通機関が少なく、病院や買い物施設が少ない地域では、健康であることが一番大事だと思うので、支所の3階の部屋やB & G、ドームを利用し、継続的にスポーツ教室を開いてほしい。

コロナ渦もあり、何かと中止や縮小となり、面倒なことから避けてしまうのがあたり前の近年となっています。学校のあり方も、うちの子が在籍していた時だけでも約10年でけっこう簡素化されています。教員のあり方ってのはもちろんあるのですが、運動会やPTA行事の中身も薄くなり面白くなりなくなりました。親子行事も減っていく一方。中学部活もなくなれば、学年での親とのコミュニケーションも減る一方。学校での関わりが減る分、地域での関わり・つながりは絶対に必要になる。全てが人員不足で簡素化・縮小化・廃止になっているこの時代だからこそ、地域が盛り上がる何かが必要だと思います。

将来、自分が清見町（親のそば）で暮らしていけるか正直不安です。もっと生活しやすい地域になるといいです。

秋に清見へ引っ越してきたばかりですが、近所の方や子ども達があいさつして下さるので、あたたかい地域だなと感じています。もっと清見のことを知り、人とのつながりを作っていけたら楽しく、いざという時に助け合える安心感につながるなど感じています。一番不便を感じるのが、車に乗らないと買物など生活がしにくいところなので、送迎など近所で助け合える関係づくりや仕組みがあると良いと思います。移動販売などもあったらいいですね。

ななもり清見の売店にコンビニを入れて土産物コーナーにまとめると、高山西ICを利用するドライバーからの集客を望めるのではないかと思います。ひだ清見観光協会もイベント時以外でも連携していけると良いと思います。

ななもり清見内にコンビニを開設してはどうでしょうか。高山西IC前という恵まれた立地で、流通面でも申し分なし。雇用の確保にも繋がるのではないかなと思う。Aコープ清見店の撤退も審議されている中、町内に小売店が減っていくのは地域として不安要素でしかないような気がします。

段々人口が減ってくる。もっと元気な町になればよい。

清見町での行事・地域活動を今より行なえれば、いろんな地域の人と交流ができると思う。

地域づくりもですが、社会が変わらないと何も変わらない。東京の一人勝ちやめさせ、格差社会の解消が必要と思う。国が変わらなければ地域の発展もあり得ません。住民に余裕ができれば地域づくりもおのずと改善されると思う。

コロナ渦で祭事行われず、各地域での文化継承が心配である。アンケート内容をもっと精査したものにすべき。過疎の山村である事をもっと重視すべきと思う。

町内に負担をかけないでほしい。

近くに買物ができるところが欲しい。（コンビニなど）

支所から大原方面はバスが少ないので不便です。免許返納後、交通機関が無くなれば清見には住めない。高齢者が安心して暮らせる様に、交通機関の充実を願う次第です。

子ども達がいつもきちんと挨拶をしてくれます。これはとても大切な事と思い、この様な素晴らしい所に住めて本当に幸せだと思います。大人の方々も良い人ばかりで、これからも変わりなく続いて行くことを願います。

スーパーがほしい。

外からの移住者も大切ですが、地元にいる子ども達が清見に残れるような魅力ある地域にする為に子どもへの支援、税金の優遇、車両購入への補助など行政への働きかけをお願いしたい。
地域活動行事等の回数見直し。
町内の役員についてどうしてもやらなければいけないのか？やならいと村八分の様な感じになる。
買い物場所が必要（土日営業）
防災無線が家の中では聞こえない。
各町内会でも70歳を過ぎても長寿会に入会しない人が多い。
町内会に限らず構成員の減少により、箱物を維持して行く事が難しい。最寄りでの統合等を検討していく必要がある。
行事などあまり強要しないでほしい。休みの日などゆっくりと過ごしたいと思う人が多い中、最低限の行事で良いと思う。
高齢化問題対策
役職等個人の負担を減らしながらも地域活動やサークル活動を増やしてほしい。
役割が重複する町内会の役などは整理していかないと担い手不足。
JAの購買が無くなることで買物できる場所が全くなくなるのはさみしい限りです。
昔の習慣が残りすぎていると思うので少しずつでも変えてほしい。
若者が清見から出て行く事を考えていかなければ良くはならない。
神社の祭りが人手不足で大変。清見町内の神社を統合していく方向で考えたらどうか。
高齢者が気軽に集える場所があると良い。
町営住宅の設置。大きな産業の誘致。
人口が増えれば学校や地域活動等の様々な問題はある程度解決される。移住者を積極的に受入れ、地域活性化に成功している地域もある。清見は不便なこともあるが、魅力的な地域だと思う。
簡単便利でなくても面白いことをやってほしい。
まち協の行事・イベント内容の見直して、高齢者・子育てへの支援へ。
田舎だからこそその強み・つながりを大事にしていければ、若者も戻ってきたいと思える地域になるのではないかと思う。
市行政は、地域に任せっ放しでなく、案件に合わせて業務として携わってほしい。（支所の権限強化を）
消防団活動において班の維持が難しい。役が一部の人に負担が重なって不平等と感じる。
毎回、落語を楽しみにしている。
三日町から遠い地区にも、もっと活動を広めてほしい。

環境保全をどう守るのか
町民が協力して美しい清見であり続けてほしい。
大原は清見の中心部より遠いため、行事などに出て行く事が難しい。
電子回覧板のシステム導入を検討してほしい。
清見音頭が継承できる体制づくりを望む。
地域行事の参加は時間・気持ち的にも負担だが、地域のつながりを維持するためには必要なことと思う。
市のバス料金の一本化（どこまでも同じ料金）
地域の人が助け合いでヘルパー代行できないものか。
IJUターンを含め人口の増加が必要はことから魅力ある施策を。
空き家対策を行ってほしい。
いろんな行事に楽しく参加しています。たくさんの方が集まる行事は、活気があり楽しいです。
協議会の皆様いつもご苦勞様です。ありがとうございます。
高齢化している中で草刈り等の行事が多いが、業者に依頼した方が良いのではないか。
高山市としての大きな行政体制では清見町の住民一人一人の声は届きにくい感じる。もっと気軽な目安箱の様な調査体制があると良い。
行事（祭り・草刈・雪下し）の参加に負担を感じるが、意見を言うことがなかなかできない。
旧市内で暮らすより清見地域で暮らせることが良い（人間関係・地域活動など）
旦那が色々な役で出っぱなしです。役を分散するとか、交替することができるかと思う。
コロナ対策で人が集まる事がなくなり、色々とめんどうになってしまった。地域の祭りなど活気がない。
交通機関の充実を求めます。デマンド方式でも良いので、濃飛の幹線バスとのらマイカーの本数や時間の見直しを要求してほしい。
みんなと顔をあわせて、仲良くし、いつでも協力して助け合う。みんな仲良くする。
清見保育園は1歳からしか入園できないが、高山市内の多くの園のように0歳（2ヵ月）から入園できるようになるとうれしい。
限られたリソースを全てに振り分けるには難問だと思う。環境に配慮したビジネス導入による人口増加が望ましいものになる。直接的、或いは間接的な人口増加がベースとなる以外活性化はないと思う。「清見町を利用しませんか」という位の宣伝が必要かな。冬季の除雪ですが、戸数も限られているので、各戸の玄関まで少しかいて欲しい。何よりも道路から敷地へ入る段差を処理してほしい。
清見町内会において地域格差が大きくなっているため、まち協への役員の見直しが必要である。人数の多い地区ではそれなりに行事に参加しコミュニケーションが図れるが、少人数（高齢化）地区では役割が負担だけになっている。地区の見直しが必要な時代である。



## まとめ

今後の清見町のまちづくりを進めるにあたって、地域の皆さまにはアンケート調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまからのご意見を参考にし、事業や組織のあり方等下記の項目について検討していく必要があると考えます。

### ○防災について

- ・自主防災計画の周知と誰もが分かりやすい内容への見直し
- ・防災意識の向上
- ・要支援者や避難者への支援体制の強化

### ○協働の進め方について

- ・地域要望、後継者育成、補助金交付等の財政支援について市への働きかけ
- ・高齢者、福祉、子育て、移住者受け入れの充実

### ○まちづくり協議会について

- ・体育事業など誰もが気軽に参加しやすい事業の実施
- ・組織体制の見直し
- ・イベント事業の内容についての見直し
- ・まち協だよりやホームページによる情報発信の強化

### ○小・中学校のあり方について

- ・地域、保護者、学校、関係機関と検討し市教育委員会へ要望書提出

### ○各自治会について

- ・自治会における活動、組織の見直し等の参考資料として今回の調査結果を情報提供